

DURC

WILD ROVER CREW vol.028

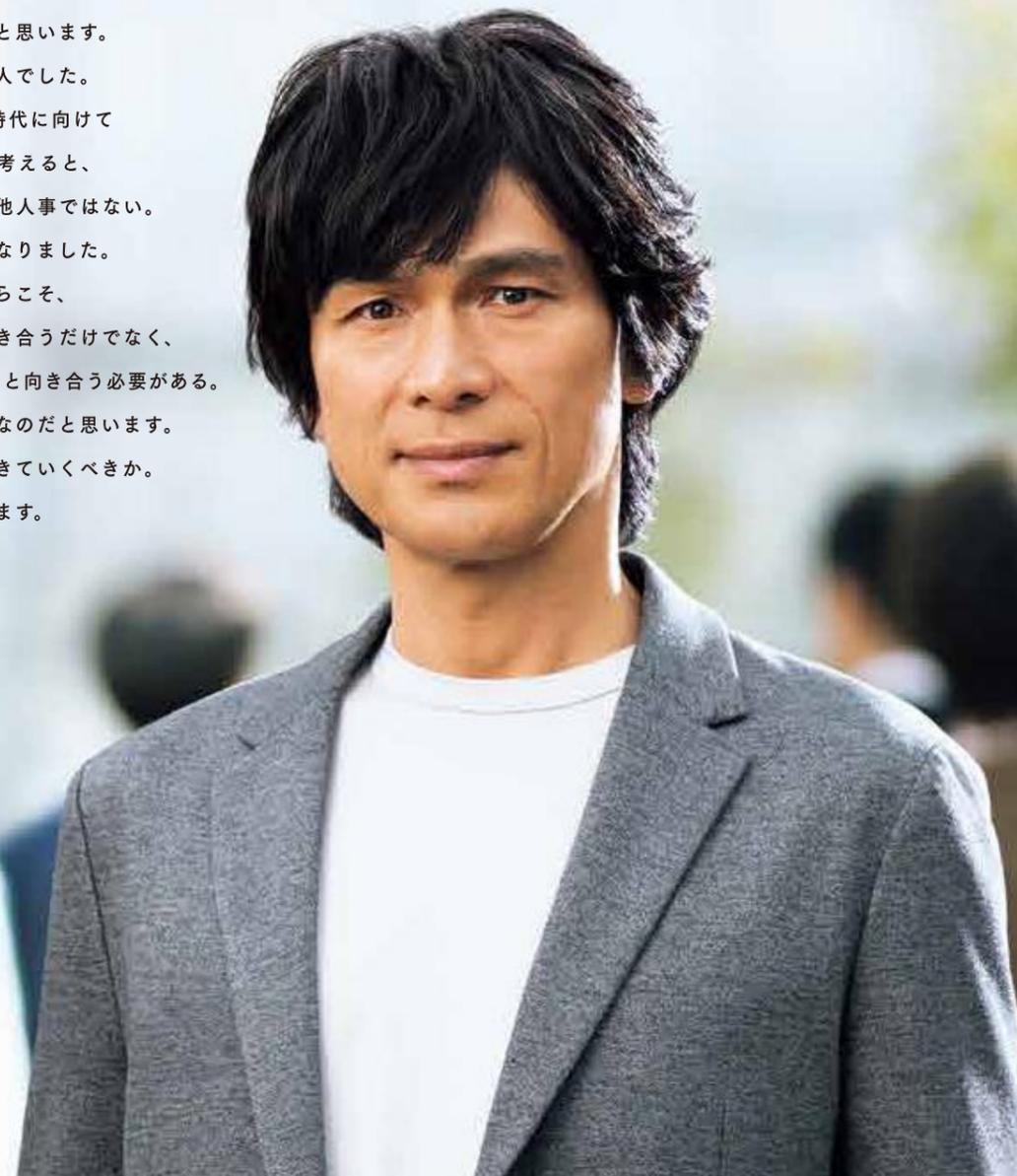


2019.11-2020.11

力漕
同志社大学
体育会ボート部

認知症は他人事ではない。
もちろんこの僕にとっても。

認知症のことは知っているけど、
自分にはまだ関係ない。
そういう人は多いと思います。
僕もそのうちの一人でした。
でも、人生100年時代に向けて
自分の長い人生を考えると、
認知症はけっして他人事ではない。
そう思えるようになりました。
誰でもなりうるからこそ、
認知症は個人で向き合うだけでなく、
社会全体でしっかりと向き合う必要がある。
今はそういう時代なのだと思います。
その時代をどう生きていくべきか。
僕も考え始めています。



そのことを恐れるのではなく、正しく備えるために。



認知症サポート

認知症保障保険

ご検討にあたっては、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり一定款・約款」を必ずご確認ください。(登)日本20-1051,20/4/2,業務部

戦績ハイライト

2020.9
↓
2020.10

第5回 西日本選手権大会

2020年 9月26日〜27日 於 大阪府立漕艇センター



- C: 福島 大智(経済4・石山)
S: 加木 康平(社4・夕陽丘)
7: 神田 成仁(経済2・徳山)
6: 松川 知生(経済2・同志社国際)
5: 長谷部 正也(法4・長良)
4: 三木 貴博(経済4・同志社国際)
3: 上皇 勇太郎(文2・鹿兒島)
2: 橋本 健太郎(法4・奈良)
B: 高木 栄次(法3・高松西)

西日本選手権の結果としましては7艇
中7位という不甲斐ないものでした。
レイトが維持できない、艇速が維持でき
ない。このように体力、技術ともに未熟で
した。(長谷部 正也)



レースNo.16 予選2組 11:24発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
		4
①	大阪大学	6:20.63
		2
②	神戸大学	6:30.18
		3
③	同志社大学 A	6:54.78

レースNo.38 予選2組 14:54発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
		4
①	大阪大学	6:33.53
		5
②	関西大学	6:35.59
		2
③	大阪工業大学 重吹	6:58.61
		3
④	同志社大学 A	7:17.69

レースNo.44 B決勝 11:40発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
		3
①	同志社大学 B	6:03.48
		4
②	大阪工業大学 重吹	6:13.28
		2
③	同志社大学 A	6:19.69 (7位)



時間がないうちで挑んだ2000mレースは、かな
り不甲斐ない結果になってしまいました。その理由
として挙げられることは、キャッチの精度と、フォ
ワードでの統一感だと考えています。インカレも間
近に控えています。細かいところにも拘って艇速
を上げていきます。(高本 正之甫)



- C: 細川 奈央(政3・関西大倉)
S: 高本 正之甫(法4・高槻)
7: 竹内 努(スポ健4・松本第一)
6: 磯本 迅汰(社2・平城)
5: 三沢 康太郎(法2・佐野日本大学)
4: 大賀 拓人(理工3・同志社香里)
3: 神垣 忠政(経2・桃山学院)
2: 涌羅 陽介(商4・星陵)
B: 市川 巧真(社3・千種)

レースNo.44 B決勝 11:40発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
		3
①	同志社大学 B	6:03.48 (5位)
		4
②	大阪工業大学 重吹	6:13.28
		2
③	同志社大学 A	6:19.69

レースNo.37 予選1組 14:49発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
		4
①	大阪市立大学 鶯花	6:37.35
		3
②	神戸大学	6:39.54
		2
③	同志社大学 B	6:45.60

レースNo.15 予選1組 11:19発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
		4
①	大阪市立大学 鶯花	6:17.56
		5
②	関西大学	6:23.59
		2
③	同志社大学 B	6:32.98
		3
④	大阪工業大学 重吹	6:45.69



今回のレースは3本とも自分たちが瀬田川でやってきた漕ぎを發揮できずに終わってしまった3本とも自分たちの実力不足を痛感するレース展開であり、まだまだ対校クルーや他大学に及ばないのだと改めて痛感した。普段の練習の1本をもっと大切にしていかなければならないと感じた。
(遠藤 寛昌)

M4x A

- S: 遠藤 寛昌(スポ健2・広島観音)
 3: 西出 捷人(理工3・同志社)
 2: 井本 太(文3・筑紫丘)
 B: 本宮 秀梧(法4・多摩大学付属聖ヶ丘)



1本目は逆風のコンディションで序盤から終盤まで風に煽られながらバタバタする漕ぎになってしまった。2本目も逆風で、重心を低く漕ぐようにクルーで意識したら1本目よりも楽で、崩れることなく進めることができた。3本目は順風。スタートから飛び出し、毎ストローク漕ぐたびにぐんぐん突き放すレースができた。比較的レース経験が浅いクルーでこのようなレースができたことは大きい収穫だと考える。
(小島 佑太)

M4+A

- C: 山本 歩武(法2・育徳館)
 S: 小島 佑太(商3・熊本学園大学付属)
 3: 竹山 亮太(グロ地3・咲くよこの花)
 2: 片山 夏貴(政2・追手門学院)
 B: 永松 サムエル(経済2・暁星)

レースNo.65 A決勝 12:46発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 C	3 6:19.17
②	大阪大学	4 6:32.61
③	名古屋大学	2 6:37.57
④	同志社大学 B	1 6:51.97
⑤	同志社大学 A	5 6:55.28 (5位)

レースNo.36 予選1組 14:44発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 C	5 6:59.62
②	大阪大学	4 7:22.56
③	名古屋大学	3 7:30.01
④	同志社大学 A	2 7:41.20
⑤	同志社大学 B	1 7:41.47

レースNo.14 予選1組 11:14発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 C	5 6:45.31
②	名古屋大学	3 7:03.70
③	大阪大学	4 7:05.27
④	同志社大学 A	2 7:32.92
⑤	同志社大学 B	1 7:50.49

レースNo.53 C決勝 11:04発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 A	3 6:49.05 (12位)
②	大阪大学 C	4 7:01.76
③	大阪市立大学紅覇	2 7:02.30
④	大阪工業大学 Pegasus	1 7:21.14
⑤	岡山大学 B「桃太郎'02」	5 7:28.33

レースNo.43 予選2組 15:19発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	大阪府立大学 鷹輝	5 7:21.96
②	瀬田漕艇倶楽部	1 7:36.65
③	同志社大学 A	4 7:43.53
④	大阪大学 B	3 7:49.33
⑤	岡山大学 B「桃太郎'02」	2 8:49.94

レースNo.22 予選3組 11:54発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 B	5 7:00.79
②	京都大学	1 7:09.52
③	瀬田漕艇倶楽部	3 7:10.64
④	大阪市立大学 勇	4 7:21.12
⑤	同志社大学 A	2 7:28.51



総じて技術不足が露呈したレースだった。1日目の2本目は午前の失敗を反省してまずまずのレースができた。しかし、2日目のレースでは前日の逆風とうってかわり順風、順流そして川のコンディションは良くなかった。条件は同じであるがうまくそのコンディションに適応する能力がなかった。後輩にはこの悔しさを糧に成長して欲しい。
(富嶋 太地)

M4x B

- S: 富嶋 太地(法4・生駒)
 3: 伴 航平(理工3・千里)
 2: 沖中 朋也(商3・東海大学付属仰星)
 B: 階堂 裕真(スポ健3・同志社香里)



2回生にとっては初の2000mレースでした。コンディションも悪くリズム感のズレや漕ぎの課題が出て、うまくいかないレースもありましたが、決勝では安定感のある漕ぎができてきたかと思えます。まだまだ、インカレ優勝に向けてレベルアップが必要なので、インカレまで課題の克服に邁進していきます。ご声援ありがとうございます。
(山田 俊正)

M4+B

- C: 白水 亮兆(商4・筑紫丘)
 S: 山田 俊正(法4・白陵)
 3: 小森 一毅(経済2・同志社)
 2: 岡本 登(法2・海部)
 B: 中野 昂士(商4・宇部)

レースNo.65 A決勝 12:46発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 C	3 6:19.17
②	大阪大学	4 6:32.61
③	名古屋大学	2 6:37.57
④	同志社大学 B	1 6:51.97 (4位)
⑤	同志社大学 A	5 6:55.28

レースNo.36 予選1組 14:44発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 C	5 6:59.62
②	大阪大学	4 7:22.56
③	名古屋大学	3 7:30.01
④	同志社大学 A	2 7:41.20
⑤	同志社大学 B	1 7:41.47

レースNo.14 予選1組 11:14発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 C	5 6:45.31
②	名古屋大学	3 7:03.70
③	大阪大学	4 7:05.27
④	同志社大学 A	2 7:32.92
⑤	同志社大学 B	1 7:50.49

レースNo.63 A決勝 12:30発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 B	3 6:30.14 (優勝)
②	京都大学	2 6:35.09
③	大阪府立大学鷹輝	4 6:35.80
④	大阪大学 A	5 6:46.07
⑤	名古屋大学	1 6:48.30
⑥	滋賀大学	6 7:01.20

レースNo.42 予選1組 15:14発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 B	6 7:14.58
②	京都大学	5 7:22.64
③	大阪大学 A	4 7:27.99
④	岡山大学 A「六花」	2 7:37.29
⑤	関西大学	3 7:50.56
⑥	大阪市立大学 紅覇	1 8:08.31

レースNo.22 予選3組 11:54発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学 B	5 7:00.79
②	京都大学	1 7:09.52
③	瀬田漕艇倶楽部	3 7:10.64
④	大阪市立大学 勇	4 7:21.12
⑤	同志社大学 A	2 7:28.51

第一に、当初からの目標を達成できたことがよかった。1日目のタイムトライアルでは、他クルーを意識しながらも、自分たちらしいレースを展開できた。決勝では、中盤に崩してから立て直すことができず、不甲斐ないレースとなってしまった。
(滝本 旺大)



M2x

S:大橋 吟次(理工2・彦根東)
B:滝本 旺大(法3・立教池袋)



M4x C

S:福條 武琉(商1・洲本)
3:林 颯一郎(社1・東山)
2:西村 雅親(社3・膳所)
B:山本 涼太(商4・同志社)

結果としては目標を達成することができましたが、まだまだ改善すべき点の多いレース内容でした。コンスタントの安定感がなく、漕ぎ込みの甘さが露呈してしまいました。しかし、今大会でしっかりと課題を発見できたため、インカレに向けてレベルアップし、日本一を獲得したいと思います。
(山本 涼太)

レースNo.58 A決勝 11:50発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	関西大学 A	3 6:55.81
2	追手門学院大学	2 7:03.58
3	同志社大学	4 7:12.63 3位
4	滋賀大学 A	5 7:21.47
5	大阪府立大学 A	1 7:26.52

レースNo.24 予選2組 13:35発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	同志社大学	5 8:01.67
2	追手門学院大学	2 8:06.12
3	大阪府立大学 B	4 8:20.17
4	滋賀大学 B	3 9:04.60

レースNo.2 予選2組 10:05発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	関西大学 A	3 7:29.89
2	同志社大学	5 7:36.72
3	追手門学院大学	4 7:47.93
4	大阪市立大学 暁	2 8:16.93

レースNo.65 A決勝 12:46発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	同志社大学 C	3 6:19.17 優勝
2	大阪大学	4 6:32.61
3	名古屋大学	2 6:37.57
4	同志社大学 B	1 6:51.97
5	同志社大学 A	5 6:55.28

レースNo.36 予選1組 14:44発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	同志社大学 C	5 6:59.62
2	大阪大学	4 7:22.56
3	名古屋大学	3 7:30.01
4	同志社大学 A	2 7:41.20
5	同志社大学 B	1 7:41.47

レースNo.14 予選1組 11:14発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	同志社大学 C	5 6:45.31
2	名古屋大学	3 7:03.70
3	大阪大学	4 7:05.27
4	同志社大学 A	2 7:32.92
5	同志社大学 B	1 7:50.49

午前は誰とも競ることができず、ひたすら1人で漕いでいたためタイムも伸びなかつた。午後は6位の選手と7秒差があったため、この差を縮めようとした結果としては1秒しか縮められなかったが、予想通りのレースプランで漕げた。2日目は大学ボートの最後のレースで気合十分だったが、隣のレーンに侵入して接触しかけたため500m地点で5秒ほど止まってしまった。この間に藤木に出られてそのまま追いつけず2位で終わった。
(桑田 大輝)

レースNo.30 予選1組 14:05発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	藪嶋人(大阪工業大学)	1 8:24.66
2	土山尚人(円山川城崎ローイングクラブ)	5 8:32.54
3	桑田大輝(同志社大学B)	2 8:53.35
4	井上貴登(瀬田漕艇倶楽部)	4 8:58.61
5	西下光洋(大阪大学)	6 8:59.26
6	庵床数馬(関西大学B)	3 9:44.34

レースNo.9 予選2組 10:40発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	増井亮太(京都大学医学部)	2 8:22.98
2	桑田大輝(同志社大学B)	1 8:38.83
3	東野準也(大阪市立大学B)	3 8:50.36
4	高木歩真(同志社大学E)	5 9:26.84
5	庵床数馬(関西大学B)	6 9:26.84
6	横瀬奨真(追手門学院大学B)	4 10:27.30

レースNo.8 予選1組 10:35発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	藪嶋人(大阪工業大学)	1 8:09.48
2	岡部哲斉(同志社大学A)	2 8:11.68
3	吉坂颯紀(大阪市立大学A)	5 8:30.14
4	井上貴登(瀬田漕艇倶楽部)	4 8:44.49
5	藤木貴也(同志社大学C)	3 8:47.71

レースNo.31 予選2組 14:10発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	岡部哲斉(同志社大学A)	1 8:33.90
2	増井亮太(京都大学医学部)	2 8:36.08
3	吉坂颯紀(大阪市立大学A)	4 8:51.80
4	木全良志来(大阪府立大学A)	6 9:17.10
5	高木歩真(同志社大学E)	5 9:48.83
6	小西辰弥(同志社大学D)	3 10:19.31

レースNo.56 A決勝 11:34発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	藪嶋人(大阪工業大学)	3 7:26.65
2	土山尚人(円山川城崎ローイングクラブ)	2 7:32.53
3	岡部哲斉(同志社大学A)	4 7:35.45 3位
4	増井亮太(京都大学医学部)	5 7:35.86
5	苗代拳(関西大学A)	6 7:57.76



スタートで圧倒的に遅れてしまった所に瞬発的なパワーの弱さを感じた。また、ラフコンディションでのブレードワークが酷かったため基礎から徹底的に見つめ直さなければならぬ。
(岡部 哲斉)

レースNo.17 予選1組 11:29発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	同志社大学	4 7:07.07
2	京都大学	3 7:17.61
3	名古屋大学	5 7:27.18

レースNo.39 予選1組 14:59発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	同志社大学	4 7:24.11
2	京都大学	3 7:34.67
3	名古屋大学	5 7:37.46

レースNo.61 A決勝 12:14発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	同志社大学	3 6:38.94 優勝
2	京都大学	4 6:48.38



1000m付近からのミドルパートで艇速を上げ他艇を突き放しその勢いのまま1位でゴールすることができました。2日目はスタートから積極的に進められたのでレースを進めることができました。真つ直ぐ進むことに対しての課題はありますがインカレでも最終日に残れるよう雑草魂で臨みたいと思います。
(堀 啓造)

M4-

S:常藤 壮人(社2・清教学園)
2:柿山 弘樹(法2・住吉)
3:安藤 亮裕(政3・同志社香里)
B:堀 啓造(経済3・金光学園)



ひとまず西日本で優勝することができて、自信に繋げることができた。インカレまで、まだまだ足りない所がたくさんあるので、現状に満足せず、限られたモーションを大切に、気を引き締めて練習に励んでいきたい。(谷美緒)



C: 谷美緒(商4・同志社)
3: 落合 萌々花(法4・同志社国際)
2: 武安 玲佳(政4・同志社国際)
B: 石川 裕希乃(スポ健3・箕面)

レースNo.64 A決勝 12:38発艇

順位	クルー	レーン タイム
1	同志社大学	3 6:59.80
2	関西大学	4 7:07.90
3	京都大学	2 7:28.97

優勝

レースNo.40 予選1組 15:04発艇

順位	クルー	レーン タイム
1	同志社大学	3 7:55.39
2	関西大学	4 7:58.55
3	京都大学	2 8:32.76

レースNo.18 予選1組 11:34発艇

順位	クルー	レーン タイム
1	同志社大学	3 7:37.83
2	関西大学	4 7:42.44
3	京都大学	2 7:37.83

レースNo.7 予選2組 10:30発艇

順位	クルー	レーン タイム
1	大阪大学 冠	2 8:17.57
2	同志社大学 B	5 8:30.61
3	岡山大学「翠葉」	3 8:41.10
4	関西大学	4 9:06.18
5	浜寺マスターズ パラローイング	1 9:50.74

レースNo.28 予選1組 13:55発艇

順位	クルー	レーン タイム
1	大阪市立大学 冠	1 8:21.56
2	滋賀大学	2 8:28.91
3	同志社大学 B	4 8:36.17
4	大阪府立大学	3 9:05.39

レースNo.60 A決勝 12:06発艇

順位	クルー	レーン タイム
1	大阪大学 冠	3 7:31.47
2	滋賀大学	4 7:42.31
3	同志社大学 B	2 7:49.93
4	同志社大学 A	1 8:02.28
5	岡山大学「翠葉」	5 8:19.16



C: 石垣 愛衣(商3・本荘)
B: 山川 慶衣果(政2・同志社国際)



C: 松元 遥香(スポ健3・鹿児島)
B: 永富 千尋(経済4・東筑)



レースNo.29 予選2組 14:00発艇

順位	クルー	レーン タイム
1	同志社大学 A	5 8:46.93
2	岡山大学「翠葉」	3 8:48.06
3	大阪市立大学 さくら	2 8:56.31
4	関西大学	4 9:10.24
5	浜寺マスターズ パラローイング	1 9:34.43

レースNo.60 A決勝 12:06発艇

順位	クルー	レーン タイム
1	大阪大学 冠	3 7:31.47
2	滋賀大学	4 7:42.31
3	同志社大学 B	2 7:49.93
4	同志社大学 A	1 8:02.28
5	岡山大学「翠葉」	5 8:19.16

レースNo.6 予選1組 10:25発艇

順位	クルー	レーン タイム
1	滋賀大学	3 8:19.53
2	大阪市立大学 さくら	2 8:40.93
3	同志社大学 A	5 8:43.86
4	大阪府立大学	4 8:51.55

予選の1本目は、スタートから艇を立たすことができずにそのままゴールしてしまった。しかし、2本目はその反省を活かしてスタートのワンストロークを長めにとり安定させること、2人の上体の動きを合わせることを意識したところ、岡山大学と競りながら1位でゴールすることができた。2日目のA決勝では、あまり練習では伸びなかったラストスタートが伸び、メダルには届かなかったが4位でゴールすることができた。(永富千尋)

レースNo.46 B決勝 10:08発艇

順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	藤木貴也(同志社大学C)	1 7:36.31
2	桑田大輝(同志社大学B)	3 7:42.83
3	井上貴登(瀬田漕艇倶楽部)	4 7:46.97
4	西下光洋(大阪大学)	2 7:51.85
5	東野準也(大阪市立大学B)	5 7:57.44
6	木全良志来(大阪府立大学A)	6 8:03.84

レースNo.32 予選3組 14:15発艇

順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	苗代拳(関西大学A)	3 8:54.01
2	東野準也(大阪市立大学B)	5 9:05.23
3	藤木貴也(同志社大学C)	2 9:11.44
4	西村快(追手門学院大学A)	4 9:52.73
5	横瀬奨真(追手門学院大学A)	6 11:08.57

レースNo.8 予選1組 10:35発艇

順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	藪嶋人(大阪工業大学)	1 8:09.48
2	岡部哲斉(同志社大学A)	2 8:11.68
3	吉坂颯紀(大阪市立大学A)	5 8:30.14
4	井上貴登(瀬田漕艇倶楽部)	4 8:44.49
5	藤木貴也(同志社大学C)	3 8:47.71



藤木 貴也
(スポ健2・桐蔭)

西日本選手権を通して、体力面や乗艇に関して準備不足であった。追い込みの足りなさ、身体への関心の少なさがこの大会の結果に表れた。ひとつこの大会で良かった点を述べると、2日目のレースで得意とする順流でしっかり技術や経験を生かしB決勝で1位という結果を残せた点が挙げられる。この大会より、秋・冬の練習が自分が成長するために重要な期間となるため、弱点であるパワー面の強化ができるよう努力していきたい。(藤木貴也)



レースNo.9 予選2組 10:40発艇

順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	増井亮太(京都大学医学部)	2 8:22.98
2	桑田大輝(同志社大学B)	1 8:38.83
3	東野準也(大阪市立大学B)	3 8:50.36
4	高木歩真(同志社大学E)	5 9:26.84
5	庵床数馬(関西大学B)	4 9:26.84
6	横瀬奨真(追手門学院大学A)	6 10:27.30



高木 歩真
(神2・岡崎城西)

1日目の1本目は、序盤から並んでた人に最後競り負けてしまった。2本目は、完全に力負けで、重い水を運ぶことができなかった。2日目は、順風だったが、技術が足りなく、波にオールを取られて、ミスオールが多かった。大会全体を通して、技術不足とエルゴ力不足を痛感した。大会当日がどんなコンディションでも、自分の漕ぎが最大限できるように、これから練習していきたい。(高木歩真)

レースNo.31 予選2組 14:10発艇

順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	岡部哲斉(同志社大学A)	1 8:33.90
2	増井亮太(京都大学医学部)	2 8:36.08
3	吉坂颯紀(大阪市立大学A)	4 8:51.80
4	木全良志来(大阪府立大学A)	6 9:17.10
5	高木歩真(同志社大学E)	5 9:48.83
6	小西辰弥(同志社大学D)	3 10:19.31

レースNo.45 C決勝 10:00発艇

順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	高木歩真(同志社大学E)	3 8:22.27
2	庵床数馬(関西大学B)	4 8:29.27
3	西村快(追手門学院大学A)	2 8:38.83
4	小西辰弥(同志社大学D)	5 9:23.06
5	横瀬奨真(追手門学院大学A)	1 9:33.99

レースNo.10 予選3組 10:45発艇

順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	土山尚人 (円山川城崎ローイングクラブ)	1 8:20.30
2	苗代拳(関西大学A)	3 8:31.76
3	西下光洋(大阪大学)	4 8:48.78
4	木全良志来(大阪府立大学A)	5 8:53.48
5	西村快(追手門学院大学A)	6 9:28.53
6	小西辰弥(同志社大学D)	2 10:13.76

レースNo.31 予選2組 14:10発艇

順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	岡部哲斉(同志社大学A)	1 8:33.90
2	増井亮太(京都大学医学部)	2 8:36.08
3	吉坂颯紀(大阪市立大学A)	4 8:51.80
4	木全良志来(大阪府立大学A)	6 9:17.10
5	高木歩真(同志社大学E)	5 9:48.83
6	小西辰弥(同志社大学D)	3 10:19.31

レースNo.45 C決勝 10:00発艇

順位	クルー	レーン 1000mタイム
1	高木歩真(同志社大学E)	3 8:22.27
2	庵床数馬(関西大学B)	4 8:29.27
3	西村快(追手門学院大学A)	2 8:38.83
4	小西辰弥(同志社大学D)	5 9:23.06
5	横瀬奨真(追手門学院大学A)	1 9:33.99



小西 辰弥
(法2・報徳)



西日本選手権の結果はシングルスカルで17艇中16位という結果に終わったが、大学でボートをしていく上で大きな経験になったと思う。どうすれば艇が速く進むのか、どう漕げば一番力が伝わるのかなど、シングルスカルでしか体感できないことを多く学んだ。また、課題も明確に現れたため、これからの冬練で克服し、万全の状態で見事にシーズンを挑みたいと思う。(小西辰弥)

第55回
京都レガッタ
2020年 9月26日〜27日 於…琵琶湖漕艇場



M1x A

小森 京
(法3・同志社国際)

初めてシングルでレースに挑戦させていただきました。圧倒的な収穫がありました。圧倒的な技術不足を痛感しました。静水でも漕ぎがままならない状況のなか、レース当日はラフコンとあって、全力で漕ぐことすらできませんでした。冬練でしっかり体力と技術を向上させ、来シーズンに挑みます。応援してくださいありがとうございます。
(小森京)

レースNo.28 予選2組 9:56発艇			
順位	クルー	レーン	1000mタイム
1	釜坂晴樹 (立命館大学 B)	5	4:12.34
2	池田晴彦 (滋賀大学教育学部 演)	3	4:25.00
3	小森京 (同志社大学 A)	2	4:57.21
4	市川凛 (龍谷大学 B)	4	DNS
5	川浪勇人 (御殿浜 RC ドクター EGG)	5	DNS

レースNo.48 B決勝 14:12発艇			
順位	クルー	レーン	1000mタイム
1	岩切俊佑 (立命館大学 C)	3	3:58.83
2	家村宜樹 (瀬田漕艇倶楽部)	5	4:03.53
3	石川修司 (魚崎ローイングクラブ)	4	4:24.32
4	戸塚駿斗 (同志社大学 C)	6	4:50.31
5	小森京 (同志社大学 A)	2	5:04.29

レースNo.27 予選1組 9:48発艇			
順位	クルー	レーン	1000mタイム
1	武長省吾 (立命館大学 A)	2	3:55.42
2	十河義晴 (龍谷大学 C)	5	3:58.07
3	岩切俊佑 (立命館大学 C)	6	4:00.36
4	家村宜樹 (瀬田漕艇倶楽部)	3	4:00.61
5	徳前麟太郎 (同志社大学 B)	4	4:31.73

レースNo.47 C決勝 14:04発艇			
順位	クルー	レーン	1000mタイム
1	徳前麟太郎 (同志社大学 B)	3	4:37.97
2	大江彰紀 (同志社大学 D)	4	5:05.88

今年の京都レガッタは強風で波が高い中、行われました。そんな今回のレースで私は自分の技術力のなさを痛感しました。相手のクルーは高レートで通していたにも関わらず、私は全くレートを出せませんでした。私はフォワードの際に艇のフラットが崩れがちであることなどの細かな点が未熟で、これらが顕著に出てしまいました。今後は、これらを成熟させることや悪条件の際の対策を考えることに取り組んでより一層、励んでいきます。
(徳前麟太郎)



M1x B

徳前 麟太郎
(法3・金沢二水)

レースNo.48 B決勝 14:12発艇		レースNo.29 予選3組 10:04発艇	
順位	クルー	レーン	1000mタイム
1	岩切俊佑 (立命館大学 C)	3	3:58.83
2	家村宜樹 (瀬田漕艇倶楽部)	5	4:03.53
3	石川修司 (魚崎ローイングクラブ)	4	4:24.32
4	戸塚駿斗 (同志社大学 C)	6	4:50.31
5	小森京 (同志社大学 A)	2	5:04.29

M1x C

戸塚 駿斗
(商4・共愛学園)

予選では強風により思うように漕げず、不安定でした。B決勝では予選よりも風が強く、同じようなレース展開になりました。2レースともレートを落とし、1本の強さを意識して漕ぎました。
(戸塚駿斗)



大江 彰紀
(スポ健2・仙台第一)

M1x D

今回が初めてのシングルであり、スキル経験も乏しかったため、基本技術の練習に多くの時間を割いた。そのため、高レートで漕ぐ練習が不足していたこと、また、ラフコンで漕ぐ経験がなかったため、レース当日の荒れたコンディションに対応できなかったことでレースでは思ったような漕ぎができなかった。しかし、今回では多くのことを学ぶことができたので今後には生かしていきたい。
(大江彰紀)

レースNo.29 予選3組 10:04発艇			
順位	クルー	レーン	1000mタイム
1	宮口大誠 (瀬田工業高校)	5	3:44.23
2	陶山知明 (御殿浜 RC ドクター X)	1	4:20.53
3	石川修司 (魚崎ローイングクラブ)	4	4:21.28
4	戸塚駿斗 (同志社大学 C)	3	4:50.79
5	大江彰紀 (同志社大学 D)	6	5:21.63
6	高木音雄 (龍谷大学 A)	2	DNS

レースNo.47 C決勝 14:04発艇			
順位	クルー	レーン	1000mタイム
1	徳前麟太郎 (同志社大学 B)	3	4:37.97
2	大江彰紀 (同志社大学 D)	4	5:05.88

戦績ハイライト 2020.9 ⇨ 2020.10



第47回
2020年 10月22日〜25日 於…戸田ボートコース
全日本大学選手権大会

予選はスタートから安定したドライブを中心としたリズムを作ることができ、レートが低いながらも艇速を出せた。しかし敗復ではスタートでのミスが原因で他艇に離され、序盤から艇身以上の差を追いかけられないレース展開になってしまった。焦りから安定した漕ぎができず、差は埋められないまま敗復敗退となった。良い勝ち方と悔しい負け方を味わったので、2・3回生には良い経験となった。
(高本正之甫)

M8+

- C: 細川 奈央 (政3・関西大倉)
- S: 高本 正之甫 (法4・高槻)
- 7: 三沢 康太郎 (法2・佐野日本大学)
- 6: 磯本 迅汰 (社2・平城)
- 5: 竹内 努 (スポ健4・松本第一)
- 4: 瀧野 陽介 (商4・星陵)
- 3: 滝本 旺大 (法3・立教池袋)
- 2: 大賀 拓人 (理工3・同志社香里)
- B: 市川 巧真 (社3・千種)

敗復B組 8:38発艇 2艇上がり			
順位	クルー	レーン	タイム
1	東北大学	4	6:02.60
2	慶應義塾大学	2	6:07.66
3	関西大学	5	6:13.14
4	同志社大学	3	6:17.73 → 敗退
5	成蹊大学	6	6:21.93

予選B組 8:38発艇 1艇上がり			
順位	クルー	レーン	タイム
1	中央大学	2	6:09.84
2	同志社大学	3	6:13.84 → 敗復
3	関西大学	6	6:16.05
4	慶應義塾大学	4	6:02.01
5	京都大学	5	6:43.43



予選は緊張からかかんでしまい、自分たちのレースをすることができませんでしたが、敗復ではキャッチ周りを改善しドライブからリズムを作ることができました。準決勝は明治大学に食らいつづけたため、スタートからスパートをかけたが続けられず、順位決定に進みませんでした。順位決定では東京経済大学、立教大学とスタートから並ぶ展開でしたが、各所でアタックを入れ逃げ切り5位入賞となりました。(山本涼太)

M4x

- C: 福條 武琉 (商1・洲本)
 3: 山本 涼太 (商4・同志社)
 2: 西村 雅親 (社3・鹽所)
 B: 林 颯一郎 (社1・東山)



コロナ等で活動が制限された中、体力の維持や技術的な課題をクルーとして克服することが難しく、今大会で改めてボート競技の難しさを感じました。後輩は今大会の負けを糧に今後の練習に向きあってくれると思います。最後になりましたが、艇友会の方々には多大なるご声援とご支援をいただき、誠にありがとうございました。(山田倭正)

M4+

- C: 白水 亮兆 (商4・筑紫丘)
 S: 山田 倭正 (法4・白鷺)
 3: 小森 一毅 (経済2・同志社)
 2: 岡本 登 (法2・海部)
 B: 中野 昂士 (商4・宇部)

順位		クルー	レーン タイム
1	同志社大学	2	6:23.09 (5位)
2	東京経済大学	3	6:23.46
3	立教大学	5	6:32.48
4	富山国際大学	4	6:35.18

順位		クルー	レーン タイム
1	明治大学	4	6:20.00
2	同志社大学	3	6:32.08 → 順決
3	早稲田大学	5	6:47.44

順位		クルー	レーン タイム
1	同志社大学	4	6:26.80 → 準決勝
2	茨城大学	5	6:42.77
3	東北大学	3	6:45.60
4	東京海洋大学	2	6:52.92

順位		クルー	レーン タイム
1	明治大学	6	6:15.65
2	日本体育大学	4	6:24.33
3	同志社大学	5	6:37.67 → 敗復
4	茨城大学	2	6:49.66
5	名古屋大学	3	6:57.38

順位		クルー	レーン タイム
1	中央大学	4	6:44.22
2	金沢大学	5	6:47.13
3	同志社大学	3	6:54.60 → 敗退
4	立教大学	2	7:01.70

順位		クルー	レーン タイム
1	同志社大学	3	6:51.61 → 準決勝
2	京都大学	4	6:58.66
3	広島大学	5	7:11.18
4	名古屋工業大学	6	7:11.76
5	小樽商科大学	2	7:22.09

順位		クルー	レーン タイム
1	早稲田大学	6	6:46.09
2	富山国際大学	2	6:58.32
3	同志社大学	3	7:00.90 → 敗復
4	岡山大学	4	7:18.93
5	名古屋大学	5	7:24.67



目標に掲げた優勝、ターゲットタイムは達成できなかったが、予選、敗復とレースを重ねていくたびに課題を克服し成長し、タイムを伸ばすことができ、5位入賞までいくことができた。このクルーの強みは、スタートでしっかりと優位にレース展開ができるため、コンスタントで如何に粘り相手を見ながら勝負を仕掛けるかが鍵となった。まだ経験の浅いクルーですが、来年度も今以上の結果をだせるように精進します。(黒須脩太)

M2-

- S: 黒須 脩太 (経済3・真岡)
 B: 落合 航大 (法2・同志社国際)



M4-

- C: 常藤 壮人 (社2・清教学園)
 3: 堀 啓造 (経済3・金光学園)
 2: 安藤 亮裕 (政3・同志社香里)
 B: 神垣 忠政 (経済2・桃山学院)

順位		クルー	レーン タイム
1	同志社大学	5	7:10.98 (5位)
2	東京経済大学	4	7:11.07
3	一橋大学	3	7:19.53
4	法政大学	2	7:19.75

順位		クルー	レーン タイム
1	京都大学	4	7:14.41
2	同志社大学	3	7:21.72 → 順決
3	滋賀大学	5	7:32.04

順位		クルー	レーン タイム
1	同志社大学	4	7:23.05 → 準決勝
2	早稲田大学	3	7:25.63
3	日本大学	5	7:26.19
4	北海道大学	2	7:53.58

順位		クルー	レーン タイム
1	京都大学	5	7:07.20
2	仙台大学	2	7:09.88
3	同志社大学	4	7:26.06 → 敗復
4	京都大学医学部	3	7:40.76

順位		クルー	レーン タイム
1	仙台大学	4	6:37.90
2	明治大学	3	6:41.56
3	同志社大学	5	6:51.05 → 敗退
4	九州大学	2	7:03.53

順位		クルー	レーン タイム
1	一橋大学	3	6:38.54
2	日本大学	2	6:39.11
3	同志社大学	4	6:52.89 → 敗復
4	名古屋大学	5	7:16.25

戸田に移ってからの自分たちのベストの状態に近づけるのに時間が過ぎてしまった。その結果が予選の結果を生んでしまったと考える。敗復では結果として負けてしまったが、クルーとしてはいい内容でレースができた。この経験を生かして来シーズン、勝つための時間を大切にしていきたい。(堀 啓造)



序盤から全力で攻めるレースプランを計画し、格上の大学になんとか食らいつくことを目標にレースに臨んだ。大きく崩すこともなく、最後までレイトも高い位置で維持することができたが、他大学とのレベルの差を見せつけられる結果となった。2・3回生クルーで構成されたクルーであるため、今後は体格づくりやエルゴ値の向上に力を入れ直し、1本の水中を向上させることを目指す。この悔しさは来シーズンの成長に繋げたい。
(三品真里子)



C:内山 碧(スポ健2・浜松北)
S:奥林 涼菜(理工3・太田女子)
3:山本 紗奈(社3・同志社女子)
2:三品 真里子(スポ健3・春日丘)
B:谷本 美伊菜(スポ健2・同志社)

敗復B組 9:26発艇		
順位	クルー	レーン タイム
		4
①	立教大学	7:26.21
		3
②	日本体育大学	7:28.12
		5
③	一橋大学	7:33.88
		2
④	慶應義塾大学	7.38.79
		6
⑤	同志社大学	8:00.72→敗退

予選A組 9:34発艇 1艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
		4
①	明治大学	7:35.17
		3
②	富山国際大学	7:40.74
		5
③	慶應義塾大学	7:44.52
		2
④	同志社大学	8:12.40→敗復

準決B組 10:30発艇		
順位	クルー	レーン タイム
		4
①	早稲田大学	6:55.17
		3
②	中央大学	6:59.63
		5
③	東北大学	7:12.36
		2
④	同志社大学	7:29.24→順決
		6
⑤	関西大学	7:34.97

予選A組 11:02発艇 1艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
		4
①	仙台大学	7:10.14
		2
②	一橋大学	7:28.32
		5
③	同志社大学	7:32.07→敗復
		3
④	大阪大学	7:57.86

順決 9:30発艇		
順位	クルー	レーン タイム
		4
①	仙台大学	7:00.94
		3
②	東北大学	7:05.08
		5
③	一橋大学	7:21.54
		2
④	同志社大学	7:27.46 (8位)

敗復A組 10:54発艇 2艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
		3
①	同志社大学	7:20.20→準決勝
		4
②	一橋大学	7:22.04
		2
③	京都大学	7:38.98
		5
④	大阪大学	7:55.46

S:武安 玲佳(政4・同志社国際)
3:谷 美緒(商4・同志社)
2:落合 萌々花(法4・同志社国際)
B:石川 裕希乃(スポ健3・箕面)



敗者復活戦では、スタートでリードされてしまうという厳しい展開だったが、コンスタントからラストへの追い上げで逆転することができた。B決勝では、波風の影響で落ち着いてリズムを作ることができず、一橋大学に抜かれるといった悔しいレースとなった。4回生が3人乗っていた私たちのクルーは、ラストレースで8位入賞という結果をボート部に残すことができた。(谷美緒)



予選D組 11:58発艇 1艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
		2
①	仙台大学	7:01.72
		3
②	慶應義塾大学	7:21.93
		4
③	東京大学	7:28.05
		5
④	同志社大学	7:36.94→敗復

敗復A組 11:18発艇 2艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
		3
①	茨城大学	7:06.94
		4
②	法政大学	7:10.31
		2
③	京都大学	7:28.06
		5
④	同志社大学	7:41.99→敗退



予選は1位と20秒近く離されてゴールし、自分の弱さが出たレースになりました。しかし、敗者復活からは徐々に調子を取り戻し、準決勝、順位決定では予選で負けた相手にリベンジすることができて本当に良かったです。順位決定でのレースを予選からできるように仕上げるべきだったという点が今回の反省点。高校からのボート生活もあと1年になってしまいました。覚悟はできました。最高の準備をしてラストインカレに臨みます。
(小島佑太)

クルー結成時でレースの2週間前かつ、2人ともにスカル経験が浅いという状況であった。その危機感と経験の浅さもあり、乗艇では試合当日も含めて毎日成長実感があり技術の進歩や艇速の向上がみられた。当日の予選ではスタートはうまくいったが中盤以降で2人ともミスオーラを多発させ、タイムが奮わず、敗者復活にまわった。敗者復活ではスタートでミスオーラをしたことで、終始バタついた漕ぎとなり4着で予選敗退となった。
(竹山亮太)



S:竹山 亮太(グロ地3・咲くやこの花)
B:高木 栄次(法3・高松西)



準決A組 12:26発艇		
順位	クルー	レーン タイム
		4
①	福井康(仙台大学)	7:35.44
		5
②	小島佑太(同志社大学)	7:50.06→順決
		3
③	寺井昇平(明治大学)	7:57.79
		2
④	永井隆介(茨城大学)	8:11.76

順決 8:40発艇		
順位	クルー	レーン タイム
		5
①	小島佑太(同志社大学)	7:35.03 (5位)
		4
②	松口海人(広島大学)	7:36.15
		2
③	浅山悠(東京大学)	7:36.20
		3
④	武岡大雅(慶應義塾大学)	7:49.09



小島 佑太
(商3・熊本学園大学付属)

予選B組 13:46発艇 1艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
		2
①	浅山悠(東京大学)	7:40.06
		4
②	武岡大雅(慶應義塾大学)	7:44.58
		5
③	小島佑太(同志社大学)	7:59.76→敗復
		3
④	富松陸(法政大学)	8:06.27
		6
⑤	川田元(南山大学)	8:09.54

敗復D組 13:54発艇 2艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
		4
①	日田駿(日本体育大学)	7:35.10
		3
②	小島佑太(同志社大学)	7:40.03→準決勝
		5
③	松元秀平(熊本大学)	7:54.21
		2
④	名畑公晴 (北海道大学水産学部)	8:07.85
		6
⑤	小野優誠(鳥根大学)	8:32.08



山本百華(文4・下関西)

準決D組 13:36発艇		
順位	クルー	レーン タイム
1	山本百華 (同志社大学)	5 8:43.75→決勝
2	渡辺杏(法政大学)	4 8:48.05
3	田畑七奈(小樽商科大学)	3 8:52.85
4	李聖美(東京大学)	2 9:06.28

決勝 10:30発艇		
順位	クルー	レーン タイム
1	茂内さくら(早稲田大学)	3 8:11.60
2	柿島麗(金沢大学)	4 8:14.29
3	荒井千奈(日本体育大学)	5 8:21.41
4	山本百華 (同志社大学)	2 8:31.97 (4位)

予選D組 15:06発艇 1艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
1	茂内さくら(早稲田大学)	5 8:16.91
2	山本百華 (同志社大学)	3 8:37.31→敗復
3	流石章代(慶應義塾大学)	2 8:54.91
4	長谷川穂波(滋賀大学)	4 9:01.89

敗復A組 14:14発艇 2艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
1	山本百華 (同志社大学)	4 8:27.43→準決勝
2	辻田みどり(一橋大学)	3 8:31.70
3	長谷川穂波(滋賀大学)	2 8:48.74
4	金子菜乃佳(関西大学)	5 8:55.13



予選では、思うようなレースができず、組の1着に大きく離されてしまった。敗者復活戦では身体の動きやエントリー動作などを修正しつつ、リラックスして臨むことができた。準決勝は4年間で最も熱いレースとなり、すべてを出し切れた。決勝は圧倒的な差で負けてしまい、勝って終わることができなかったが、サポート・応援してくださる方や仲間存在の大きさを深く感じたレースとなった。4年間ありがとうございました。(山本百華)



S:谷本 陽花(政3・津)
B:鹿間 珠乃(文2・名古屋西)



艇の1本の進め方やコンディショニングへの対応力など、「戸田との差」を感じたレースとなりました。また、不安要素であった、レートを上げて序盤から果敢に攻めるという姿勢と、クルーの強みである長さを生かすということが、レースではできなかったことが敗因となったように感じます。目標としていた入賞には届かず残念な結果に終わってしまいましたが、今回肌で感じたこの差を常に意識しながら、オフシーズンも練習に励みたいですね。(谷本陽花)

順決 8:50発艇		
順位	クルー	レーン タイム
1	明治大学	3 8:05.93
2	仙台大学	4 8:06.26
3	慶應義塾大学	5 8:22.35
4	同志社大学	2 8:38.30 (9位)

敗復B組 12:16発艇		
順位	クルー	レーン タイム
1	一橋大学	4 8:11.08
2	仙台大学	3 8:20.87
3	同志社大学	5 8:44.75→順決

予選C組 13:14発艇 1艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
1	立命館大学	3 8:00.46
2	同志社大学	5 8:24.78→敗復
3	鹿屋体育大学	4 8:36.52



S:石垣 愛衣(高3・本荘)
B:山川 慶衣果(政2・同志社国際)

準決A組 11:10発艇		
順位	クルー	レーン タイム
1	早稲田大学	4 7:31.42
2	鹿屋体育大学	5 7:41.94
3	龍谷大学	3 7:47.10
4	同志社大学	6 7:57.10→順決
5	東北大学	2 7:58.63

予選B組 12:22発艇 1艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
1	富山国際大学	2 7:51.42
2	鹿屋体育大学	4 7:55.18
3	法政大学	5 8:08.55
4	同志社大学	3 8:19.95→敗復

順決 9:10発艇		
順位	クルー	レーン タイム
1	明治大学	4 7:37.73
2	金沢大学	5 7:39.35
3	龍谷大学	3 7:44.97
4	同志社大学	2 8:07.58 (8位)

敗復B組 11:58発艇 2艇上がり		
順位	クルー	レーン タイム
1	明治大学	4 7:52.96
2	同志社大学	5 8:07.41→準決勝
3	大阪市立大学	3 8:17.07



予選はレートの割に進みが短い空回りした漕ぎになってしまいタイムが伸びず厳しい順位からスタートした。反省を活かし固定感を重視した漕ぎへと変え、予選後に固定感を掴むためにギリギリまで練習した。敗復、準決と最終競り合うレース展開だったことで良いイメージを定着させながらレースを重ねる毎にタイムを伸ばしていくことが出来た。レースの中で進ませ方を掴んでいけたことが8位入賞に繋がったのではないかと考える。(石垣愛衣)

マネージャーは練習期間中、食事の面から部員のサポートを行います。新型コロナウイルスの関係で3月から食事提供ができていませんでしたが、遠征中に限り大学から食事提供の許可が下りたことで、久々の食事作りにマネージャーの気合も十分！部員からの「やっぱりマネさんのご飯は美味しいわ〜」という言葉は、やはりマネ冥利に尽きます！！



戸田での献立例

- 唐揚げ、カボチャサラダ、具沢山味噌汁
- ハンバーグ、マカロニサラダ、コソメスープ
- 麻婆茄子、きんぴらレンコン、お味噌汁

トレーナーは、漕手により密着したサポートを行います。乗艇中は担当クルーに付き添いアドバイス、練習後はマッサージなどの漕手のケア。練習動画のアップロードなど…そのサポートは多岐に渡ります！他にも滞りなく遠征を行うためにさまざまなところで動いてくれています。まさに部全体を支える緑の下の力持ちです！



このように部員一丸となり、勝つためにそれぞれの立場から全力でポートに向き合います！



試合までの4日間、実際のレース会場で練習を行います。戸田独特の雰囲気を受け、部員の緊張感もさらに高まり、より一層引き締まる期間です！レース本番最大の力を発揮できるように、大会ギリギリまで調整を行いました。



**10月18日
~21日**



期間中、男子宿舎2つ、女子宿舎1つの計3つの宿舎に分かれて生活を行いました。



宿舎にOBや保護者の方々からの心のこもった差し入れが届くたびに、部員一同大盛り上がり！すぐさま争奪戦のジャンケンが開催されます！



いつも皆さまからの温かいご声援が、本当に部員たちの力となっております！

イベント 遠征に密着!!

新型コロナウイルスの流行により、無観客での開催となった第47回全日本大学選手権大会。そこで今回特別に、普段は知ることのできない大会期間の部員の様子をお見せします!!



**10月17日
9時30分**

この日はあいにくの天気。雨に打たれ、びしょ濡れになりながら、部員総出で積み込み作業を行いました。船やオールなどポート関連の備品はもちろん、約1週間分の食糧、日用品、移動用の自転車などなど…約60人分の大荷物とインカレへの闘志をトラック2台にぎゅうぎゅうに詰め込んで、いよいよ戸田へ出発です！



今回は新型コロナウイルス感染予防として大型バスを貸し切り、部員全員で戸田へ向かいました。サービスエリアに降り立つたびに、いろいろと食べ物を買込み、気持ちの準備も腹ごしらえもばっちりです！



10月22日
～25日

いよいよ4日間の大会の開催です!!

今回は新型コロナウイルス流行の関係で、無観客での開催となりました。大声での声援も禁止のため、通常よりも静かな雰囲気で行われました。が、どの団体もギラギラとした闘志を抱え挑んでいるため、静かな雰囲気の中、たくさんの人たちの想いが燃える、熱い大会となりました！同志社大学ボート部においても、この試合で引退となる4回生、本大会が初めての戸田でのレースとなる部員などさまざまですが、「勝つ」という目標はみんな共通しています。この4日間にすべてを懸け、臨みました。

ここからは、通常通りレースを観戦するだけでは知ることができない、レース当日のスタートまでの部員たちの様子をお伝えします！



青船台

発艇
20分前

戸田のポートコースにはスタートの付近に青色の船台があるため、一度船をつけてからスタート地点へ向かいます。ここではサポートが待機していますが、実はサポートにとってこの青船台、場所取りを巡る他大学との熾烈な争いの場でもあるんです！選手たちが船をつけることができるように、同志社に限らずどの大学のサポート陣たちも普段はどれだけ穏やかな性格であろうと、ここでは強気で場所の奪取、死守を行います(笑)

選手たちはサポート陣の必死の攻防により確保された場所に船をつけると、視野が狭くならないようにサポートたちと会話したり、いつでもレースに行けるように身体を動かしたりと、今からはじまるレースに備え最終調整を行います。そして呼び込みのアナウンスが流れると、いよいよスタート地点に向かいます！



スタートの瞬間

発艇
直前

このスタートの瞬間において、感じる事、考える事は部員それぞれです。ある選手に聞くと、緊張もありスタート地点でのことは正直覚えていないそうです。「ただ、なんとなく行ける気がするときは大体勝てるし、気合満タン勝つぞ！と考えているときは大体上手くないかな」と話していました。一方サポート陣たちも、伴走のために自転車に乗ってスタート付近で構えています。努力を重ねる選手をずっと傍で見ていたからこそ、勝ってほしいという想いが溢れ、サポート陣もとても緊張する瞬間です。

10月25日

すべてのレースが終わり撤収作業を行った後、このチームでの最後の全体ミーティングを行います。そして『One Purpose』を歌い、この遠征を締めくくることが毎年の恒例の流れです。この瞬間をもって4回生が引退されます。4年間やり切った瞬間の先輩方の表情はとてまかつよく、後輩たちはその姿を見てグッと気が引き締まります。夕方の戸田を背景に撮る“家族写真”は一生の思い出となります！



このたびは、温かいご支援、ご声援をいただき、誠にありがとうございました。コロナ禍で通常通り活動ができず、くすぶる想いをすることが多くあった中、皆さまからの応援がいつも部員の力、そして励みになっておりました。これからも皆さまのご期待に添うチームを目指し、部員一同精進してまいります。来シーズンも同志社大学ボート部をどうぞよろしくお願いたします!!

国艇前

発艇
1時間半前

レースの約1時間半前に国艇の前に集合します。ここでは陸でのアップ、栄養補給、艇の最終チェックや、クルー皆でレースプランの確認を行います。国艇前に来た選手たちは皆、グッと集中し引き締まった表情です。



蹴り出し

発艇
1時間半前

国艇前にある船台からいよいよレースへと蹴り出します。本来であれば蹴り出しのタイミングになると、付近にいる部員やOB、保護者の方々が大勢集まり、「Doshisha Cheer」で送り出しますが、今回は大声での声援が禁止のため、ひっそりとした蹴り出しになりました。この蹴りだしのタイミングで、勝って帰ってくるイメージをとにかく湧かせているという選手も多くいます。



レース前

行われているレースを見ながら波や風の感覚を掴み、レース中のイメージ作りを行います。メンバーに下級生のいるクルーでは、後輩の緊張をほぐすために、関係ない話でもいいのでとにかく会話を軽やかなことを意識しているという選手もいました。



DURC
TOPICS
2020

びわっ子 縁JOY レガッタ

○結果

- 男子コースタルダブル(300mスラローム)
優勝:慶應義塾大学 準優勝:同志社大学
- 女子コースタルダブル(300mスラローム)
優勝:同志社大学 準優勝:慶應義塾大学
- エイト エキシビジョンマッチ(500m×2本)
1本目(上り)勝者:慶應義塾大学
2本目(下り)勝者:同志社大学
総合(タイム)勝者:慶應義塾大学

2020年11月3日、滋賀県立琵琶湖漕艇場でNPO法人「琵琶湖ローイングクラブ」主催の「びわっ子縁JOYレガッタ」が開催された。本大会では、2024年パリ五輪での新種目として国内でも話題となりつつある「コースタルローイング」種目によるレースも行われた。この種目は海で開催されることが多く、ラフコンディションの中、コース上のいくつかのポイントをスラロームしながら往復する競技で、コース取りが非常に重要となる。

今年には新型コロナウイルスの流行により、大会の多くが開催中止になり、4回生の引退のタイミングもバラバラであった。そこで、この大会を引退レースとするために、10月をもって引退した4回生全員が参加した。普段の部活動では船に乗らなかったトレーナー、マネージャーも今回は選手として出場し、現役の時とはまた違う、シンプルにボートを楽しむにぎやかな様子でレースに参加した。関東からははるばる慶應義塾大学も参加し、メキシコオリンピック出場を争った1968年の全日本選手権以来の同志社慶應の対校戦(社塾戦)も行われ、会場は盛り上がりを見せた。

トレーニングルーム大幅刷新

2020年、同志社大学ボート部はトレーニングルームが大幅刷新されました！
国立スポーツ科学センターでも導入されているCYBEXシリーズを中心に新マシンが導入され、増え続ける部員数にも対応できるトレーニング効率の高い練習環境が整いました。
さらにレベルアップしたトレーニングルームをご紹介します！



RP3社製の
ダイナミック
エルゴ

従来のConcept2社製のエルゴに比べて、腰への負担の少なさや、水上に近いフィリングが得られる。



パワーラック

NAUTILUS社製のパワーラック。可動式のバーキャッチとセーフティーバーが採用されているため、体格に合わせて理想のフォームでトレーニングが可能。また、フリーウェイトトレーニングだけでなく、2種類のチンニングバーでチンニング(懸垂)も可能。



ベンチ
プレス台

セーフティーバーによって、より安全にトレーニングに取り組むことが可能となった。主に胸筋を鍛えるベンチプレスに使用する他、フラットベンチとしても使用可能。



プルダウン
マシン

CYBEX社製のプルダウンマシン。ボート競技で重要となる広背筋を鍛えるラットプルダウンに使用。左右のアームが独立しているため、バランス良く鍛えることができる。最大130kgの負荷に対応し、低負荷から高負荷までのトレーニングをカバーできる。



レッグプレス
マシン

CYBEX社製のレッグプレスマシン。可動域やシートバックの細かい設定が可能。最大230kgの負荷をかけることができるため、脚部や臀部などの高負荷トレーニングに対応している。

がんばれ、同志社大学!



共に運びます！
個性と絆を・・・
最高の熱量をもったあの場所へ

-信頼と実績の輸送-

広栄運輸株式会社

〒664-0006 兵庫県伊丹市鴻池 4-3-3

【お問い合わせ】

TEL : 072-779-7008 (代表)
FAX : 072-779-7117
Mail : kawamoto@koueiunyu.com
URL : http://www.koueiunyu.com/

共通点は「監督」。

— 監督になったきっかけは？

横山先輩 元々引退した後、しばらくコーチをしていました。しかしボート部とはそれっきりで。そんななか急遽、僕の前に監督をしていただいた新井さん（S45年卒 新井喜範先輩・現艇友会会長）から「平成元年からボート部の面倒をみてくれ」とお願いされました。

これは自身が現役の時の話のただけで、全日本の決勝のスタート地点で待機している時、後ろを振り向いて「これで勝つたら日本一」と思ったことがあったね。結局このレースの結果がどうだったかは覚えていないんだけど、このスタートでの記憶だけが鮮明に残っていて。このスタートでの気持ちを学生たちにも味わってほしいな、感じてほしいなという想いで引き受けました。

武田監督 僕はコーチも何もやったことがなくて。当時面識のなかった新井さんに急遽呼び出され、監督をお願いされました。なんで10年以上のブランクがある僕なのかと疑問に思いましたね。でも祇園を10件以上はしごして口説き落とされ了承しました（笑）。

横山先輩 平成3年でボート部は創部100周年でしたが、その特別なタイミングで監督をさせてくれた新井さんには本当に感謝



OB 対談

監督って、楽しいんですよ。
だから、ハマるよね(笑)。

武田 知也 監督 X 横山 基嗣 先輩

しています。

— 監督になることに躊躇はなかったのですか？

武田監督 ありましたよ。コーチの人選から躓いて、結局ひとりでスタートしましたから。

横山先輩 僕も一緒、ひとりでのスタートでした。よく知った後輩2人に声を掛けてコーチになってもらいました。何も知らない、分からない状況から始まることにもちろん不安はあったけれど、やっぱり好奇心が勝っちゃうんですよ（笑）。

— 監督の生活はどのようなものですか？

横山先輩 やはり監督は家を犠牲にしますよ、金曜日の仕事終わりに合宿所へ行って日曜日までそのまま瀬田にいる生活。監督5年、その後ヘッドコーチを2年務めました。だから監督になった時は下の息子が1歳だったのですが、気づいたら小学生になっっていました（笑）。奥さんはよく文句言わず見守ってくれていたなと思います。

武田監督 現役時代、週末になると横山さんの車が宿舎の前に止まっていたことを覚えてます。

横山先輩 当時、武田とはほとんど喋らなかつたよね。武田がエルゴを一生懸命やっていた姿がものすごい頭に残っていて。あと整調漕いでいたイメージもある。武田は、センスが抜群で、漕ぎ方が綺麗だった。

武田監督 いやいや恐縮です（笑）。

「勝つ」よりも大切なこと。

— おふたりはどんな監督でいらっしやいますか？

横山先輩 技術面のことにはコーチに任せ、僕はマネジメントに徹していました。金曜の夜に合宿所でマネージャーとワイワイ話するのが楽しかったです（笑）。コーチが漕手の面倒を見て、僕はずっとマネージャーと接していました。マネージャーは朝早くから朝飯作ったりといるいるしんどい思いをしてくれていたしね。

武田監督 僕も技術のことは言わないけれど、横山さんは僕以上に技術のことを言わない人でした。

横山先輩 監督を務めていた時に一番に考えていたのは、やはり事故がないようにということでした。家の上に墓地があるのですが、監督時代、事故がないように。そして勝てますように」とずっと臺参りに行っていました。

武田監督 監督していたらやはり事故が一番心配ですよ。COXがいた方が安全ですが、最近傾向として舵手付種目がほとんどなくなっています。オリンピックではエイトだけがCOXの付く種目です。

横山先輩 事故がないこと。このことを一番の想いに監督を務めました。

監督は「役割」。

武田監督 結局、監督っていったいどういものなのか、10年目してもまだよく分からなくなる時があるんですよ。

横山先輩 僕がいつも思っていたのは、監督は会社で例えたら社長と同じだと。全責任は監督にある。責任さえ持てば勝手なことでもできる（笑）。

武田監督 それで言うと、僕がしていることはバレーボールに例えられると思います。最初に僕がサーブを打って、向こうのコートにいる学生たちがスパイクを打つ。僕はそのボールをひたすら全部取って、返すんですよ（笑）。それを繰り返す感覚です。

横山先輩 なるほど（笑）。監督というのは、結局は全体の流れをしっかりと見たらいいわけ。監督の仕事ってアバウトだなと思います。

武田監督 あとは綺麗ごとでなく、いろいろな人の想いを結集しなければならぬと思うんですよ。最終的な形として、いろいろな人にボート部に入ってもらって、その気持ちを結集させること。僕が監督としてやりたいことが達成できなくても、それができたならいいかな、と。今、ボート部に必要なことは、強くなる努力を継続することだと思っています。

— おふたりともマネジメントタイプですね。
— 一時の戦績が駄目だから全部壊して再構築、ということではなく、継承して積み重ねていかない、いつまで経っても強くなれない。

横山先輩 駅伝や野球の監督と違って、ボートではレース中に声を掛けることはできないですね。レース中に自転車からいくら微を飛ばしたって、漕いでいる本人たちには聞こえないわけだし（笑）。

武田監督 監督にとっては、クルーを選んだところからレースが始まって、最終日が終わるまでがレース。勝つために、学生たちが少しでも多くレースを漕ぐことができるように、クルーを選んだ時から始まる約6〜8週間の中で、あれやこれやと采配を行うんです。

監督は「楽しむ」。

横山先輩 やっぱり監督は楽しいんですよ。ハマるよね（笑）。当時、毎週瀬田に行くことが本当に楽しかったです。

武田監督 楽しいですよ。だから僕も監督を10年しています。楽しくなかったらこんなになくやりません。

横山先輩 5、6年前、東京で、少し遅れての還暦祝いを武田が企画してくれたことがありました。監督をしていた当時の部員も来てくれて。あれは本当に嬉しかった、監督をしてきた冥利に尽きる出来事でしたね。

武田監督 またボート部に戻ってきてくださいよ。横山さんがいたら、僕、何でもしますよ（笑）。
横山先輩 僕が監督としてなら、喜んでいきますよ（笑）。

卒業生の言葉



谷 峻登

RYOTO TANI

法学部政治学科
福岡県立東筑高等学校出身

まずは両親に感謝したいです。何の文句も言わずに大学に行かせてくれて、大学でもボートを続けるというワガママを聞いてくれて、感謝しかありません。今まで伝えることはできなかったけど「ありがとう」という言葉を伝えたいです。

ドルチェ・アンド・ガッパ…コロナのせいで思い描いたような4年生とはいきませんでした。4年間、めちゃくちゃ充実しました。石田さんが怖すぎて寒さと恐怖で震えながら乗艇していた1回生の1月(あの時練習の仕方がわかって今では本当に良かったと思います)。大さんとメダルを目指したインカレ(大さんが実はめちゃくちゃ熱い人で尊敬してました)。エイト選考に漏れた後、玄関の階段で感じた、たかしさんの大きさ(顔だけじゃなかったです)。そしてえいしゅうさんとのおなひペア(社会人でも責任感なしペア)。

これ以上なく、先輩、同期、後輩に支えてもらった4年間でした。幸せ者です。

細川と寄田、そして堀田コーチもありがとうございました。ケガした時に支えていただいたおかげでエルゴでベストが出せました。

今になって同期のみんなとダイニングで騒げないことが悲しいです。びえん。



山田 俊正

WASHO YAMADA

法学部法律学科
白陵高校出身

まず私の見えないところでご支援、サポートいただきました関係者の方々に心より感謝を申し上げます。そして、監督、コーチの方々にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

振り返ってみると、清水さんの勧誘でこの部に入ると直感で決めた日が遥か昔のように感じます。

偉大な先輩方と同じ時間を過ごせたこと。ボロボロになるまで練習した日々。馬鹿みたいに笑った同期との時間。悔しさのあまり涙したレース。仲間と真剣に衝突したこと。強豪大学を倒して勝つことができた経験。最後の最後にボートの難しさを思い知ったこと。

大学生活の大半のことは犠牲にしましたが、簡単には表現することのできない「何か」がこの3年半をかけがえのないものにしてくれました。

そして、単純にボートが好きでした。ボート部が大好きでした。

入部当初の目標であった日本一にもなれました。分不相応にも主将として100人の部を纏めるという有意義な経験もさせていただきました。

思い残すことは後輩が勝ってくれることだけです。もう一度、日本一を獲ってください。そして、僕が死ぬまで強いボート部を引き継いでいってください。



加木 康平

KOHEI KAGI

社会学部教育文化学科
大阪府立夕陽丘高等学校出身

間違いなく一生で一番きつい時間でした。大学に入学し、不安と期待で胸が膨らむ仲、弊部の新歓独特である大学生活の始まりを伝えながらもどこか温かさを感じさせる雰囲気は呑まれ入峰しました。初めは楽しい時間だけが過ぎていきました。しかし徐々に朝早い練習、休みが少ない練習スケジュール、そして何より努力が結果につながらない悔しさが、常に自分を悩ませ苦かせていました。

このように、今振り返ってみると辛いと感じる時間がほとんどでした。しかし、そんな自分に「もう一度1回生に戻れたらボート部に入りますか?」という質問を問いかけたら、迷わず「はい」と答えます。

答えは簡単です。たくさんの辛い思い出苦しい思い出よりも入って良かったと思える瞬間の方が心に残っているからです。きつい練習が終わった後にみんなでそれをかき消すように笑うダイニングの時間。普段遊ぶことができない自分たちだからこそのオフ期間中の旅行の楽しさ。そして何より、これから生涯語り合える同じ志を持った同期、尊敬できる先輩、かわいい後輩と出会えたこと。これらのかけがえのない思い出は一生大切にしていきたいと思います。本当にお世話になりました。



山本 涼太

RYOTA YAMAMOTO

商学部商学科
同志社高等学校出身

ただがむしやりに駆け抜けた3年半でした。初めての冬の4時、真っ暗で極寒の瀬田川に心を折られ、この生活があと3年続くことに絶望したこともありましたが、しかし振り返ればあつという間で、あの異常な生活に戻りたいとさえ思っています。

何かに熱中したいという想いから入部を決めたボート部。誰よりも充実し人にも恵まれた学生生活を送ることができました。旅行に行く友人を羨むこともありましたが、今思えばボートにすべてを捧げた大学生活も悪くなかったと思います。「強い同志社を作って後輩にバトンを繋ぎます」石田さんが総会でおっしゃったこの言葉、今でも覚えています。この言葉が練習のモチベーションでした。谷間の世代と呼ばれないように、少しでも結果を残せるように上を目指し続けました。コロナ影響で思うように練習ができない時期もありましたが、インカレでは多くのクルーが入賞しました。昨年の戦績には劣りますが「強い同志社」というバトンを何とか繋ぐことができたのではないかと思います。

最後になりますが、監督、コーチ、OB・OGの皆さん、私のボート人生に携わったすべての方々々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



Lumiebre

AEHANDKERCHIEF CO., LTD. tel: 0795-48-2031 <http://www.lumiebre.jp>



中野 昂士

KOJI NAKANO

商学部商学科
山口県立宇部高等学校出身

監督、コーチ、OB・OGの皆さま、4年間ご指導・ご支援いただき、本当にありがとうございました。私は「自分自身が活躍して試合で勝つ」という思いを持ってボート部に入学しましたが、今となっては、その1回生の時の選択は間違っていないかと思っています。

振り返ってみれば、あっという間に過ぎていった4年間でした。勝った試合もあれば、負けた試合もあります。しかし、どの試合も自分自身を成長させ、学びを得ることができました。私はどんな練習に対しても目標を持って取り組んできました。試合で勝つためには、1回、1回の練習の積み重ねが大事です。水上でのドリル練習や陸上での筋力トレーニングなどをひとつひとつ試してみても、目標を持ってやるのと持たないのでは、結果が大きく異なってくると考えています。どんなにきついメニューでも、こなすことを考えるのではなく、何かひとつ目標を決めてやることで、自分自身の成長を感じることができました。その積み重ねが試合での結果に繋がってくると思います。

私はこの部を通じて、たくさんの方のことを経験できました。これを無駄にすることなく、これからの人生を必死で進んでいきたいと思っています。4年間ありがとうございました。



富嶋 太地

DAICHI TOMISHIMA

法学部法律学科
奈良県立生駒高等学校出身

この4年間は自分と向き合い続けた日々でした。ボート時代のほとんどが上手くいかないことばかりでボート部での思い出の8割、9割は苦しいものだった気がします。

ボートという競技ほど自分に向き合う競技はないと思っています。フィジカル、テクニク、そしてエルゴとすべてに数字というはっきりとした数値が付いて回ります。エルゴと向き合い、正解がわからず逃げ出したくなる日も何度もありました。でも、そんなボートは嫌いではありませんでした。乗艇の時に漕ぎ方を少し変えると艇速や進み方が変わるボートは一種の実験のような感覚があり、のめり込むことのできる競技でもありました。また、正解がなく、自分にとって考える楽しさを与えてくれるスポーツでもありました。

これだけ自分が集中して競技をやったのはOBさんや監督、コーチの支えがあったからだと思えます。本当にありがとうございました。

最後になりましたがこの4年間で関わってくださったすべての方に感謝を致します。



高本 正之甫

SHONOSUKE TAKAMOTO

法学部法律学科
高槻高等学校出身

「ボート部に入って何を学んだのか」とよく考えます。一言でこれだと言えるものは見つかりませんが、それはたくさんの成長の中からどのひとつを言っているのかわからないからです。

ただ、ひとつ確信を持って言えることがあります。それは、この4年間で成し遂げた何かの「結果」自体が自分を成長させてくれたのではなく、目標を追って試行錯誤を繰り返し、厳しくやりたいことにも取り組んできた「過程」こそが自分を成長させてくれたということです。僕はボート部での数々の取り組みの中でうまくいったことよりも敗北や失敗に終わったことの方が多いと思います。いくら時間を費やしても、負けるときは負けますし、一瞬にしてすべてがふいになることもあります。しかし、その過程は無駄になりません。たった一度の結果ですべてを失うほど、そこまでの過程で得たものはやわではありません。たくさんの方の支えのおかげで今の自分があります。そうやって得たものは、いつか大きな結果になって返ってくると思っています。

「無駄なことなんてひとつもなかった」。そう思いながら引退できるように、後輩のみなさんも頑張ってください。僕も頑張ります。4年間、本当にありがとうございました。



桑田 大輝

HIROKI KUWATA

グローバル地域文化学科アメリカコース
兵庫県立姫路東高等学校出身

「君めっちゃでかいやん!! ボート部とかどうや!?!」
この一言から始まった4年間のボート生活。最初は(まじでなんやねん、このでかい人ら、こっわ)しか思っていなかった。新歓が楽しかったので入部を決めたが、今になって言えることはただひとつ。「あの時の決断は間違えていなかった」。

4年間で振り返って、正直しんどいことしかなかった。朝は早いし、エルゴはきついし、気づけば手にマメできるし、果てしなく筋肉痛やし、数え出すときりがない。パリピに憧れていた入学当初の自分はどこへ行ってしまったのか。しかし、この4年間で得られたものは何事にも代えがたい一生の財産になると確信している。しんどい練習をやり切ったことにより得られた自信はもちろん、それ以上に先輩・後輩・そして最高の同期といった、まさに「100人の家族」ができたことこそ、私にとって最高の財産である。

最後になりますが、今、引退して思うことは「同志社大学ボート部って恵まれてたんやな」ということです。それは監督・コーチ・OB、OGの皆さまに支えられてこそのことだと思います。本当にありがとうございました。



長谷部 正也

MASAYA HASEBE

法学部法律学科
岐阜県立長良高等学校出身

楽しかったなーの一言に尽きると思っています。みんな個性が強くて自由だけど、「勝ちたい」、この一点でまとって一生懸命に駆け抜けてきました。気持ち悪いくらい一緒に過ごして、笑いあって、喧嘩して、泣いて、濃い4年間を過ごした大学生が他にいないのでしょうか。

もう筋肉痛に苦しむことも、エルゴメニューに怯えながら電車に乗ることも、朝4時に起きて乗艇することもあります。嬉しいです。でも大人数のダイニングでご飯を食べることも事務室で無駄話することもあります。寂しいです。現役には良いことも悪いこともすべて、今を楽しんでほしいと思います。

高校生の頃に思い描いていた大学生活とはかけ離れたものですが、思いがけず楽しい4年間でした。良い選択をしたと1回生の4月の自分を褒めてあげたいです。ノリと勢いは大事ですね。勉強の方は全くですが、みんなに出会えて、本気になれる場所に出会えたこと、私は運がいいです。これからもイージーに生きていきたいと思っています。

ボート部を支えてくれている関係者の方々、大変お世話になりました。ありがとうございました。



橋本 健太郎

KENTARO HASHIMOTO

法学部政治学科
奈良県立奈良高等学校出身

今思うと、なぜ私が辞めずに最後まで続けられたのか不思議です。入部後、一番に退部を決断したのは、私でした。合宿所生活はやっぱり無理だと思って6月には退部を申し出ました。その時は、先輩に引き留められて思い止まりましたが、正直、最後までは続かないだろうと思っていました。

そんな私がなぜ卒部できたのか。ただ単にボート部という組織に依存していただけという側面もあり、これは今後の私の人生の課題です。しかし、それだけが理由ではありません。やはり、人の支え、その支えに応えたい自分があったからこそここまでやってこれたのだと思います。2000ttでこれまでの人生でされたことのないくらいの応援をしてくれた仲間、夜が明けぬうちから練習を支えてくれた、マネさん、トレーナーの皆、本当に感謝しかないです。そして、私にとっては、先輩、同期、後輩皆が憧れの的でした。あんなに辛く、困難な競技に対しても、どこか楽しみを抱いて日々を積み重ねる皆が私にとっては素敵でした。そんな仲間と過ごしたこの3年半の経験は今後の私の人生に重要な道標を示してくれると思います。その意味では、宝を得たと言えるでしょう。

今まで、本当にありがとうございました。



戸塚 駿斗

SHUNTO TOTSUKA

商学部商学科
群馬県立共愛学園高等学校出身

大学に入学した頃、まさか自分がボート部に入るとは思いませんでした。週6日、朝早く起きて朝練習をして、学校に行き授業を受け、その後合宿所に戻り午後練習をする。学校から合宿所に向かう電車が本当に苦痛でした。幾度も部活を辞めたいと思いました。

しかし、そんな自分でも大会に出場させてもらい、同期と1位を取った時の喜び、0.1秒で負けて泣いた時の悔しさとさまざまな経験をすることができました。これは最後まで部活をやり遂げたこそ味わえた貴重な経験だと思います。

ボート部に入部し、部活を引退した今、ボート部に入ることが本当に正解だったと言える自信はありませんが、それでも部活を3年半頑張ってきたという自信は、これから自分の心の支えになると思っています。

多くの人に支えられてやり切ることができました。ありがとうございました。



竹内 努

TSUTOMU TAKEUCHI

スポーツ健康科学部スポーツ健康学科
松本第一高等学校出身

[4年間で印象に残っていること]

- ①原田さんの勧誘→僕が入部を決めていたら原田さんが「たまに女子の着替えとか見れるで」的なことを言われた時は少し引き寄せました。
- ②ナックルレガッタ→同期でエルゴが一番遅かったため一番下のクルーになり、かなり悔しかったです。
- ③石田さんにガチギレされる
- ④はしけんさん近江舞子ヘッドロック事件
- ⑤米原駅のコンビニで野宿
- ⑥籠重さんにガチギレされる
- ⑦サードの鏡を割ってしまい、呪われる
- ⑧3年の朝日レガッタ→練習からクルーの雰囲気良くてメダルも獲れたので、本当に最高のクルーでした!
- ⑨はしけんさんのリトルおじいちゃん事件
- ⑩軍団の栄枯盛衰→加入?や脱退?、氷河期など色々ありましたが本当に大好きな最高の仲間です!!!

こんな世間知らずな田舎者を受け入れてくれた部員や指導者の方々には感謝しかないです。特に同期にはたくさんの迷惑をかけたと思います。それでも突き放さずに4年間関わってくれたみんなは一生の財産です。ありがとうございました!!



福島 大智

DAICHI FUKUSHIMA

経済学部経済学科
滋賀県立石山高等学校出身

他人と比較し、自分の無力さを痛感し続けた4年間でした。漕手時代のエルゴ値・技術面・精神面の弱さ、裏方を志願してからの日々の仕事・漕手への関わり等。基本、苦しい・悔しい経験ばかりが思い出されます。

しかし、あの日常から離れるとなると寂しい思いです。なぜか。それはやはり、その度に支えてくれ、悩みを共感できる人の存在があったからでしょう。2年前のpvの言葉を借りるなら、「兄や姉・弟や妹」といった家族以上の関係である部員のおかげです。本当にありがとうございました。

最後に、サポートに転向してから実感したことがあります。それは、同志社大学ボート部の強さは現役生だけで成り立っていないということです。その根源は、現役と同等もしくはそれ以上にボート部のことを考え、時間を割いていただいている方々の協力があってこそです。監督・コーチ・幹事をはじめとするOB・OGの方々、本当に今までありがとうございました。これからも弟・妹たちをよろしく願いいたします。



白水 亮兆

AKIHIRO SHIROUZU

商学部商学科
福岡県立筑紫丘高等学校出身

お世話になっております。COX兼会計を務めました白水です。ボート部での4年間は私の人生の大きな財産です。

ラストシーズンを駆け抜けたことは大きな経験となりました。ラストシーズンにて、現在の2回生が上回生に追い付こうと必死で練習をしていた姿が印象に残っています。そんな後輩たちの直向きな姿を見て、入部当時の熱い気持ちが再び湧いてきたことを覚えています。ボートと本気で真っ直ぐ向き合った、最高のラストシーズンでした。

また会計として、貴重な経験をさせていただきました。特に艇友会会計の林さんには大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。会計就任時に成し遂げると心に決めていた「現役会計が自立する(艇友会の補助がなくても自走できる資金状況の確立)」という目標の実現が、コロナによって頓挫した点のみ悔いとして残っています。今後会計に就任する後輩たちには、ぜひ成し遂げていただきたいです。

最後にOB・OGの皆さま、日頃より多大なるご支援いただき誠に有難うございます。会計として皆さまのご支援の偉大さを身に沁みて感じておりました。これまでと変わらぬご支援をいただけますと幸いです。4年間、有難うございました。



本宮 秀悟

SHUGO MOTOMIYA

法学部法律学科
多摩大学付属聖ヶ丘高等学校出身

やり終えました。乗艇、エルゴ、筋トレと3年半の代わり映えない日々。日曜日と木曜日を楽しみにし続けた日々。楽しみな明日など一度もなかったはずなのに、あっという間と感じた3年半。待ちに待った引退生活のはずなのに、味気なく合宿所の温かさをどこか懐かしく思います。

そう感じさせてくれるのも先輩、後輩、同期のボート部員のおかげだと思います。ボート部は、拘束時間がとても長く、せつかく京都の大学に来たのに、ほとんど滋賀県民として過ごさざるを得ませんでした。ただ、京都府民の時以上に滋賀県民の時の方が腹抱えて笑ったりさせられるなど、間違いなく幸せでした。

ボート部生活を終えた今、思うこととしては、こうした繋がりに感謝です。祖父に憧れ入部した体育会。80歳になっても学生時代の仲間とベロベロになるまで酒を楽しみ、昔を懐かしみ語らう。そんな姿に自分は憧れていました。

親身になって関わっていただいた先輩や後輩、毎日4時に目を半開きにし、同じ釜の飯を食い続け、風呂場で裸で語りまくった同期。これからもよろしくお願ひします、と言える人たちに出会えた繋がりに大変感謝しています。

本当にお世話になりました。



三木 貴博

TAKAHIRO MIKI

経済学部経済学科
同志社国際高等学校出身

ボート人生に一片の悔いなしです。3年半の大学生活を終えて自信を持って言えることです。平日の4時モーション。そして出席がある授業。さらに放課後のエルゴ。夜はYouTube。できるだけ実家にいたかったオフの日。毎日が代わり映えない日常でしたが、とても価値があるものだったと思います。確かにハードではありましたが、その中で楽しさを見つけて合宿所生活送っていたことは、充実した日常であったと実感しています。

引退して今、合宿所生活とかけ離れた日常を送る中で、ボート部の良さに気づくことがたくさんあります。そのひとつに先輩、後輩そして同期の仲間にも恵まれていたということです。思い返すと、楽しい時も苦しい時も仲間と共有して乗り越えてきたように思います。私が最後まで継続して部活ができたのも、仲間の存在が大きいのかもしれません。現役の時になかなか気づきにくいことではありますが、ボート部という特殊な環境下だからこそ仲間との強いつながりができると思います。まさにボート部の特権だと思っています。ボート部のつながりは引退した今も、いや社会人になっても一生の財産になると思いました。



落合 萌々花

MOMOKA OCHIAI

法学部法律学科
同志社国際高等学校出身

とても濃い4年間でした。一言でいえば、きつかったです。もちろん楽しかった時間もたくさんあったし、ボート自体は好きだったけど、自由の少ない生活が私にとっては窮屈でした。1回生の時は特に上下関係や合宿所内でのルールが嫌い、朝早いのも寒いのも暗いのもほんとに嫌でした。雑用をさぼっては怒られ、10時消灯が守れず怒られ、同期女子とも仲良くなれず、大変だったことを覚えています。それでもなんやかんやと4年間続けてこられるぐらいには、ボート部にも魅力があったのでしょう。素敵な同期、先輩、後輩に恵まれました。

私は1度も日本一を取ることはできませんでしたが、加古川選考で負けたときの悔しさも、2シートをめぐってのインカレ選考での緊張も、初めて戸田で漕いだ時の感動も、最終日に残れず応援席でレースを見ていた日のことも、開選で初優勝した時の周りの人の笑顔も、ラストインカレで負けた時のクルーみんなの涙も、たぶん一生忘れないと思います。

でも、もうボートはやりません。ぼろ負けしたラストレースの悔しさは、これから何か新しいことを始めるときの原動力につなげます。今まで支えて下さった皆さま、本当にありがとうございました。



山本 百華

MOMOKA YAMAMOTO

文学部英文学科
山口県立下関西高等学校出身

思い返すと入部から引退まで本当にあっという間でした。言葉では言い表せないさまざまな感情を知った4年間でした。1回生の時のワクワクした気持ちは長くは続きませんでした。現実には厳しく、練習メニューも苦しく、逃げ出したくなったこともありましたが、その度に多くの人に助けられました。直接ではなくとも、頑張る姿を見たり前向きな考えに触れたりすることで自分を奮立たせることができました。段々レースで勝つ喜びや僅差で負ける悔しさを感じられるようになり、それからは勝ちたい、と思いついて誰に何と思われようと自分の信念を貫いてやってきたつもりです。大学から新たに競技を始め、全てが初めてでひたすら悩みましたが、水上で泣いた日も明日こそ辞めようと思った日も今となっては懐かしささえ感じます。この4年間で、近年の同志社大学ボート部の大きな成長の一端を少しでも担っていたら嬉しく思います。

最後になりましたが、支えて下さったOB・OGの皆さま、監督、中來田さんを始めとしたコーチの皆さま、大変お世話になりました。心から御礼申し上げます。

今後の同志社大学ボート部のさらなる発展を祈っています。4年間本当にありがとうございました。



徳永 拓人

TAKUTO TOKUNAGA

理工学部機能分子・生命科学科
大阪府立四條畷高等学校出身

月並みにはなりますが、ボート部が活動するにあたって尽力してくださった監督並びにOBの方々にまずは御礼申し上げます。

比類ない部員の熱量に押され入部したボート部でしたが、数えきれないほどの特別な経験をさせてもらいました。

合宿所生活では、ダイニングでのたわいのない話題や体育会のノリで盛り上がりたりと、その空間にただで安堵感や所属感を与えてくれました。

人生における多感な時期にたくさんの同年代の部員たちと関わり、苦楽を共にできたことは懐かしく感じる一方で、ただの日常がどれほど貴重な時間であったか、在籍時にも強く意識はしていたものの、引退した今、実感をもって感じられます。

ボート部での生活は練習に限らず全方位的にハードなものを強いられましたが、だからこそ引退せずに充実した日々を送ることができました。

人生において自らの能力のなさ、不出来さに対する悔しさは多々ありますが、その時々自分にとってできる最大限の努力をしてきた自負はありますし、懸命に取り組んできたことに対する後悔は微塵もありません。

目標に向かってひたむきに努力し、志を共にできる仲間たちがいる環境で大学生時代を過ごせたことは僕にとって宝物です。



涌羅 陽介

YOSUKE YURA

商学部商学科
兵庫県立星陵高等学校出身

私が同志社大学ボート部に入部した最大の理由はここで必死に頑張れば必ず成長できると感じたからでした。そして長いようで短かった3年半のボート生活を終えた今、間違いなく入部を決めたあの頃よりもひと回りもふた回りも成長できたと感じています。

ボート競技を通して心・技・体を鍛えるとはよく聞くことですが、私は本当に偽りなくそのすべてを鍛えることができたと感じています。

今まで経験したことがなかった集団生活、先輩方との飲み会、飯準、雑用、日通、新歓、岩井さん、堀田さんの鬼畜メニュー、シングル1モーション2回ヘッド、終わりの見えない船のリギング、手のマメ...などなどそれらすべての経験が私の血となり肉となっています。

もちろん辛いこともありました。それを上回る楽しみ、喜びがあつた生活にはありました。かけがえのない一生の同期、先輩、後輩に出会えたことが何よりも財産だと感じています。

これからあの4年間を上回る経験、出会いがあるのかということだけが現在の唯一の不安です。

これからボートに関わるかは分かりませんが、ここで出逢った皆さまとの縁は一生大事にしていきたいです。水は繋がってますから。4年間本当にありがとうございました。



木村 朱里

AKARI KIMURA

商学部商学科
同志社国際高等学校出身

ボート部を通じて、本当にたくさんの出会いがありました。心から尊敬する先輩方や、大好きな同期、かわいい後輩たちなど、本当に周りの人に恵まれ、充実した4年間を過ごすことができました。

マネージャーという貢献度の低いポジションではありませんでしたが、部活をより良くするために、自分ができることをたくさん考え、悩みながらも、自分なりに一生懸命頑張る日々が、最高に楽しかったです。頑張りが数字として表れるようなことはなかったですが、それ以上に、人のためを思って何かをすることが楽しさを、マネージャーという役職を通じて知ることができました。この経験は、私にとって一生の宝物です。

周囲の人に恵まれていたからこそ、このように感じる事ができました。この4年間、私と関わってくださったすべての方々へ、いくら感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

また、最後になりますが、私たちが日々活動するための環境を整えてくださっていた監督、コーチ、OB・OGの皆さま方、本当にありがとうございました。



大垣 誠奈

SEINA OHGAKI

政策学部政策学科
西宮市立西宮東高等学校出身

これまで私たちのボート部生活を支えてくださった皆さま、お世話になりました。ありがとうございました。

大学へ入学してすぐ先輩方に声をかけていただき、ボートなんて全く知らなかった私に熱く話をしてくださいました。自分では見られないような日本一という夢をマネージャーとして選手をサポートすることで見てみたい、こんなにたくさんのマメを手で作って頑張っている人たちの力になりたい、そう思っ

て入部を決意したことを今でも覚えています。大変だということは覚悟していましたが、想像以上につらく、厳しいことが多い4年間でした。もう辞めてしまいたいと何度も思いました。それでも最後まで頑張ることができたのは、私を信じていつも気にかけてくださった先輩方やそれぞれの立場で頑張る部員の存在があったからです。マネージャーとして選手や部を支える立場でありながら、誰よりもみんなに支えてきてもらったと感じています。

気の利いた後輩でも、頼りになる先輩でもなかったですが、ボート部のマネージャーとして私らしく頑張ってきたことは誇りであり、これからの糧になると思います。

4年間本当にお世話になりました、ありがとうございました。



谷 美緒

MIO TANI

商学部商学科
同志社高等学校出身

ボート部の新歓に足を運び、先輩方の熱意に憧れ入部を決意したあの日から4年が経ちました。長かったです。辛かったです。でも最後のインカレを終えた今、もう1年欲しい、4年間じゃ足りないと感じています。私は日本一という夢を叶えることはできなかったけど、ボートに出会えて良かったと心から感じます。そしてボート部を辞めるという決断を下せなかったことを誇りに思います。

私は同志社大学ボート部で大切な仲間に出会えました。特に同期の女子漕手5人と糸魚川には、言葉では表せない感謝の気持ちでいっぱいです。ナックルレガッタから始まり、加古川、冬練、そして最後のインカレまで、笑いあり涙ありのたくさんの出来事がありました。優しくて、面白くて、負けず嫌いで、努力家のみんながいてくれたから、今の私があると思います。4年間、一緒に戦ってくれて本当にありがとう。

そしてお忙しい中、時間を削って足を運んでくださったコーチや監督、どんな時も一番に応援してくれた家族に感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。



武安 玲佳

REIKA TAKEYASU

政策学部政策学科
同志社国際高等学校出身

約10年間の部活動生活がついに終わりました。いままで近くでずっと応援し支え続けてくれた両親やご指導してくださったコーチ陣、監督、先輩後輩そして同期に感謝しています。ありがとうございました。

私も強くなりたい、というぼんやりとした目標のなか練習していた2回生の時、インカレで友人となった他大学の友人が新人戦でメダルを勝ち取っていました。しかし友人が悔し涙をずっと流し艇を洗っている姿を見て、自分のボートへの気持ちの弱さを痛感しました。その姿が今でも忘れられず、もっともっと上へいかなければいけないという気持ちと日本一という目標が生まれました。

今年はコロナの影響もあり思い描いていたラストシーズンとはなりませんでした。中継を観て遠くから一喜一憂してくれた仲間、友人、家族がいて最後まで支えてもらったシーズンでした。今できるならダイニングでご飯を食べ、事務室でくだらない話をずっとしていた日々に戻りたいです。心に誓った日本一という目標は達成できませんでしたが、仲間と過ごしたかけがえのない日々は宝物です。

ありがとうございました。



小西 礼子

REIKO KONISHI

法学部法律学科
愛知淑徳高等学校出身

私がボート部に入部してよかったと思うことは、たくさんの出会いがあったことです。同期はもちろん、先輩や後輩、大学や部活を超えた方との交流を通して自分自身成長することができました。

マネージャーという仕事は自身が結果を残すことはありませんでしたが、日々厳しい練習に励む漕手の近くでサポートをすること・よりよいサポートのため試行錯誤することにやりがいを感じていました。時にぶつかることもありましたが、話し合いを重ね、部の勝利のために活動したことは私の財産となりました。

文章では書ききれないくらいにボート部の思い出はたくさんあります。楽しいことばかりではありませんでしたがボート部に入部してよかったと心から思います。1回生の時の自分の判断を褒めてあげたいです。

最後になりましたが、私たちの活動をご支援くださいました監督、コーチ、OB・OGの皆さま方、本当にありがとうございました。



久保田 理々子

RIRIKO KUBOTA

神学部神学科
埼玉県立熊谷女子高等学校出身

私はマネージャーとして活動していた3年半に悔いはありません。自分でも、部内では自由に振る舞っていたという自覚があります。漕手やトレーナーと比較して身体的な自由は多かったと思いますし、自分の好きなことややりたいことを十分にできた3年半だったと思います。

だからといってマネージャーの仕事は疎かにしたりはせず、やるべきことはきちんとやり、自分なりに部のことを考えて活動してきました。それを他人がどう思っているかはわかりませんが、個人的には満足しています。後輩の子たちがどう思っているかもわかりませんが、自分が満足していて、大勢の他人から文句を言われていたりしなければそれでいいと思っています。だから、悔いのないよう今しかできないことは今のうちに、満足のいく状態で引退して欲しいです。

みなさん頑張ってください。



糸魚川 みどり

MIDORI ITOIGAWA

経済学部経済学科
北海道札幌旭丘高等学校出身

2020年10月25日。例年よりも2カ月も遅いインカレでしたが無事開催され、私のボート生活3年半の幕が閉じました。

初めは兄からの勧誘でした。私の兄は同志社ボート部に所属していたので、入学前から知っていました。兄から合宿所生活や練習の厳しさを聞いていたので絶対にボート部だけではないと思っていました。しかし気が付けばボート部の人の良さに魅了され入部を決めていました。あとに何回も辞めたいと感じましたが入部したことは一度も後悔したことはありません。

月日が流れ、私が入部したときは80人ほどだった部員が130人まで増え、主務として部を引っ張る役目を背負っていました。主務になると今までは違う視点が増え、目まぐるしい毎日を過ごすこととなりました。ですがそれは決して苦ではなく、私が部にいる意味ややりがいを与えてくれました。

最後に3年半支えてくださった監督・コーチ並びにOB・OGの先輩方本当にありがとうございました。またここまで一緒に過ごしてきた後輩、そして最後まで信頼してくれた同期にも感謝の気持ちでいっぱいです。楽しかったと一言で言い表せることのできない濃い3年半でした。仲間とこの思い出は私にとっての一生の宝物です。



永富 千尋

CHIHIRO NAGATOMI

経済学部経済学科
福岡県立東筑高等学校出身

まずは、4年間ご指導いただいた監督とコーチ陣の皆さま、さまざまなご支援をいただいた艇友会のOB、OGの方々、本当にありがとうございました。私たちが、恵まれた環境の中でボート競技に打ち込むことができたのは皆さまの支えのおかげです。

私は、高校時代にボート競技を始めました。しかし、7年間の競技人生では、試合に出場することができても目立った成績を残すことはできず、落ち込むことの方が多かったです。そして、ラストシーズンでは新型コロナウイルスの打撃を受け、試合はおるか活動もできないなかでモチベーションの維持にとっても苦しみました。そして迎えたラストレース、決して準備万端という状態で臨んだわけではなかったですが、とても楽しかったです。最後のレースを終えた後は、清々しい思いで引退をすることができました。その理由は、恵まれた同期や後輩たちとボート競技に真摯に打ち込むことで「心技体」を鍛えることができたという自負があるからだと思います。

これからは、また各々が違った環境で新たなスタートを切ることになりますが、この貴重な経験を活かし頑張っていこうと思います。本当に4年間、ありがとうございました。



やまもと さな
山本 紗奈【女子主将】

- ① 社会学部メディア学科
- ② 同志社女子高等学校
- ③ 156cm
- ④ 勝つべくして勝つ



ほり けいぞう
堀 啓造

- ① 経済学部経済学科
- ② 金光学園高等学校
- ③ 173cm/80kg
- ④ 最後の最後まで諦めずやってきたことを信じ抜きます！



ばん こうへい
伴 航平

- ① 理工学部情報システムデザイン学科
- ② 大阪府立千里高等学校
- ③ 171cm/85kg
- ④ ベストを尽くします



おくぼやし すずな
奥林 涼菜

- ① 理工学部化学システム創成工学科
- ② 群馬県立太田女子高等学校
- ③ 162cm
- ④ 勝って終わる



いしかわ ゆきの
石川 裕希乃

- ① スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
- ② 大阪府立箕面高等学校
- ③ 156cm
- ④ 叶える



いしがき あい
石垣 愛衣【会計】

- ① 商学部商学科
- ② 秋田県立本荘高等学校
- ③ 156cm
- ④ 最高のチームで最高の結果を出す



みなま りこ
三品 真里子

- ① スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
- ② 大阪府立春日丘高等学校
- ③ 162cm
- ④ 後悔を残さないようできることはすべてやる



まつもと はるか
松元 遥香

- ① スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
- ② 鹿児島高等学校
- ③ 159cm
- ④ ラストシーズン、後悔のないよう邁進します



たにもと はるか
谷本 陽花

- ① 政策学部政策学科
- ② 三重県立津高等学校
- ③ 169cm
- ④ 勝てる選手に成長する



ほそかわ みずき
細川 瑞姫
【主務・トレーナー】

- ① 政策学部政策学科
- ② 大阪府立清水谷高等学校
- ④ 先を見据えた行動



やまさき ゆうり
山崎 優有
【主務・トレーナー】

- ① スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
- ② 中京大学附属中京高等学校
- ④ 自分ができることを着実に



ほそかわ なお
細川 奈央【COX】

- ① 政策学部政策学科
- ② 関西大倉高等学校
- ④ 悔いを残さない



ふじもと みく
藤本 美玖【広報】

- ① 法学部政治学科
- ② 兵庫県立御影高等学校
- ④ チームのために最良のサポートをする



はるた
春田 ひかる【広報】

- ① 法学部法律学科
- ② 兵庫県立星陵高等学校
- ④ 自分が取り組むことすべてを、部にそして自分に繋げる



やすおか きょうか
安岡 京香
【統制・栄養衛生】

- ① 商学部商学科
- ② 国立京都教育大学附属高等学校
- ④ 悔いのないラストシーズンにします



さとう はるな
佐藤 遼奈
【体育会本部】

- ① 商学部商学科
- ② 宮城県立仙台南高等学校
- ④ 全員が後悔することのないラストシーズンにするために全力でサポートします！



なかもり さわこ
中森 佐和子
【艇友会】

- ① 社会学部社会福祉学科
- ② 鳥取県立鳥取西高等学校
- ④ 部のサポートに尽力する

2021年度

現役部員紹介

①学部・学科 ②出身高校 ③身長/体重 ④来シーズンに向けてひと言




こじま ゆうた
小島 佑太【副将】

- ① 商学部商学科
- ② 熊本学園大学附属高等学校
- ③ 181.9cm/78kg
- ④ 強い同志社の礎を築く



くろす しゅうた
黒須 脩太【主将】

- ① 経済学部経済学科
- ② 栃木県立真岡高等学校
- ③ 176cm/75kg
- ④ 最大の戦力、最速のエイトを以て日本一を獲ります

新4回生



いのもと ふとし
井本 太

- ① 文学部美学芸術学科
- ② 福岡県立筑紫丘高等学校
- ③ 170cm/69kg
- ④ ベストを尽くします



あんどう あきひろ
安藤 亮裕

- ① 政策学部政策学科
- ② 同志社香里高等学校
- ③ 170cm/69kg
- ④ 限界突破



たきもと おうた
滝本 旺大【副将】

- ① 法学部法律学科
- ② 立教池袋高等学校
- ③ 167cm/73kg
- ④ 精一杯頑張ります



おぎなか ともや
沖中 朋也

- ① 商学部商学科
- ② 東海大学付属仰星高等学校
- ③ 172cm/70kg
- ④ 悔いないシーズンにする！



おおが たくと
大賀 拓人

- ① 理工学部電気工学科
- ② 同志社香里高等学校
- ③ 175cm/72kg
- ④ シーズンに向けてもう負けません



いちかわ たくま
市川 巧真

- ① 社会学部社会学科
- ② 愛知県立千種高等学校
- ③ 167cm/77kg
- ④ 完全燃焼



たかぎ えいじ
高木 栄次

- ① 法学部政治学科
- ② 香川県立高松西高等学校
- ③ 177cm/85kg
- ④ ぶちかます



こもり けい
小森 京

- ① 法学部政治学科
- ② 同志社国際高等学校
- ③ 172cm/68kg
- ④ GO ONE MORE



かいどう ゆうま
階堂 裕真

- ① スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
- ② 同志社香里高等学校
- ③ 166cm/66kg
- ④ 悔いのない1年



にしむら まさちか
西村 雅親

- ① 社会学部メディア学科
- ② 滋賀県立膳所高等学校
- ③ 177cm/80kg
- ④ DURC1のメダルコレクター目指します



にしで はやと
西出 捷人

- ① 理工学部インテリジェント情報工学科
- ② 同志社高等学校
- ③ 167cm/77kg
- ④ 結果が出るまでやり続ける



とくまえ りんたるう
徳前 麟太郎

- ① 法学部法律学科
- ② 石川県立金沢二水高等学校
- ③ 177cm/70kg
- ④ どんなきもあきらめません!!



三沢 康太郎
みさわ こうたろう

- ① 法学部法律学科
- ② 佐野日本大学高等学校
- ③ 177cm/72kg
- ④ ボートに没頭する



松川 知生
まつかわ かずき

- ① 経済学部経済学科
- ② 同志社国際高等学校
- ③ 172cm/72kg
- ④ 努力し続ける



藤木 貴也
ふじき たかや

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康学科
- ② 和歌山県立桐蔭高等学校
- ③ 172cm/66kg
- ④ 美の追求



遠藤 寛昌
えんどう ひろまさ

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 広島県立
広島観音高等学校
- ③ 159cm/65kg
- ④ インカレで漕ぐ



磯本 迅汰
いそもと はやた

- ① 社会学部産業関係学科
- ② 奈良県立平城高等学校
- ③ 183cm/89kg
- ④ リベンジ

新3回生



内山 碧 [COX]
うちやま みどり

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 静岡県立浜松北高等学校
- ④ 極楽鳥花



谷本 美伊菜
たにもと みいな

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 同志社高等学校
- ③ 159cm
- ④ 強くなります



山本 歩武 [COX]
やまもと あゆむ

- ① 法学部法律学科
- ② 福岡県立育徳館高等学校
- ③ 163cm/58kg
- ④ 順位つけます



岡部 哲斉
おかべ てっさい

- ① 商学部商学科
- ② 熊本学園大学
付属高等学校
- ③ 163cm/67kg
- ④ 結果を出す



大橋 吟次
おおはし ぎんじ

- ① 理工学部電子工学科
- ② 滋賀県立彦根東高等学校
- ③ 168cm/68kg
- ④ インカレで順位つけます



大江 彰紀
おおえ あきのり

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科
- ② 宮城県立
仙台第一高等学校
- ③ 162cm/60kg
- ④ 日々成長する



**寄田 風花
【トレーナー】**
よりた ふうか

- ① 法学部法律学科
- ② 同志社女子高等学校
- ④ 貢献します



**山川 慶衣果
【トレーナー】**
やまかわ けいか

- ① 政策学部政策学科
- ② 同志社国際高等学校
- ④ 自分が今できることを
全力で



**田畑 綾奈
【トレーナー】**
たばた あやな

- ① 商学部商学科
- ② 同志社高等学校
- ④ 強くなります



柿山 弘樹
かきやま ひろき

- ① 法学部法律学科
- ② 大阪府立住吉高等学校
- ③ 176cm/78kg
- ④ 焦らず、奢らず、丁寧に



落合 航大
おちあい こうだい

- ① 法学部法律学科
- ② 同志社国際高等学校
- ③ 182cm/74kg
- ④ 勝ちまくる



岡本 登
おかもと のぼる

- ① 法学部法律学科
- ② 徳島県立海部高等学校
- ③ 174cm/74kg
- ④ 自他ともに認める実力



三谷 彩乃【艇友会】
みにあやの

- ① 政策学部政策学科
- ② 香川県立高松西高等学校
- ④ 部の力になれるよう
全力でサポートします



石田 比奈子【広報】
いしだ ひなこ

- ① 経済学部経済学科
- ② 福岡女学院高等学校
- ④ 部に貢献できるように
努力します



上島 勇太郎
かみはた ゆうたろう

- ① 文学部国文学科
- ② 鹿児島高等学校
- ③ 172cm/70kg
- ④ インカレで順位をつける



神垣 忠政
かみがき ただまさ

- ① 経済学部経済学科
- ② 桃山学院高等学校
- ③ 184cm/83kg
- ④ 誰よりも強くなります



片山 夏貴
かたやま なつき

- ① 政策学部政策学科
- ② 追手門学院高等学校
- ③ 173cm/73kg
- ④ 気持ちを切らさない



小森 一毅
こもり かずき

- ① 経済学部経済学科
- ② 同志社高等学校
- ③ 178cm/82kg
- ④ 勝つ



小西 辰弥
こにし たつや

- ① 法学部法律学科
- ② 報徳学園高等学校
- ③ 168cm/72kg
- ④ 積小為大



神田 成仁
ごうだ なると

- ① 経済学部経済学科
- ② 山口県立徳山高等学校
- ③ 173cm/72kg
- ④ エルゴを伸ばす



永松 サムエル
ながまつ

- ① 経済学部経済学科
- ② 暁星高等学校
- ③ 181m/80kg
- ④ 悔いのない
勝負の1年に！



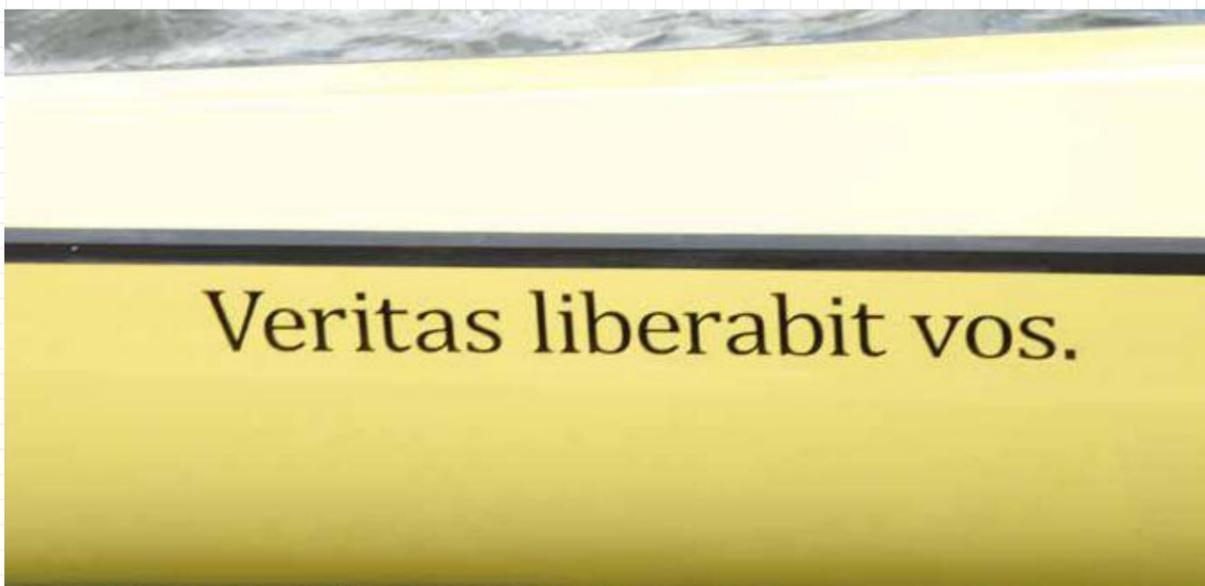
常藤 壮人
つねふじ あきと

- ① 社会学部社会学科
- ② 清教学園高等学校
- ③ 175cm/74kg
- ④ 戸田で勝つために
パワーと技術を向上する



高木 歩真
たかぎ あゆま

- ① 神学部神学科
- ② 岡崎城西高等学校
- ③ 172cm/68kg
- ④ 肉體改造





株式会社 王子製作所

船舶用艀装部品・建設機械部品
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本 社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地
TEL (0794)37-1600(代)
FAX (0794)35-6181

丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地
TEL (0877)28-7004
FAX (0877)28-5162

かとう まさたか
加藤 雅隆

- ① 社会学部社会福祉学科
- ② 名古屋高等学校
- ③ 174cm/63kg
- ④ 先輩に追いつく

いしだ かずき
石田 和己

- ① 経済学部経済学科
- ② 同志社高等学校
- ③ 176cm/61kg
- ④ 大会メンバーに選ばれるように頑張ります

新2回生

はやし そういちろう
林 颯一郎

- ① 社会学部産業関係学科
- ② 東山高等学校
- ③ 174cm/82kg
- ④ 金メダル取ります！

はしもと なおと
橋本 直人

- ① スポーツ健康科学部
スポーツ健康学科
- ② 高槻高等学校
- ③ 167cm/61kg
- ④ 必死でがんばります！

なかもら まさみち
中村 証道

- ① 文化情報学部
文化情報学科
- ② 兵庫県立須磨東高等学校
- ③ 179cm/65kg
- ④ 全力で頑張ります

うちだ まほ
内田 真歩

- ① スポーツ健康学部
スポーツ健康学科
- ② 東京都立新宿高等学校
- ③ 152cm
- ④ 学んだことをすべて吸収し、毎日成長できるように努力します

まえだ ゆうた
前田 悠太

- ① 文化情報学部
文化情報学研究科
- ② 高槻高等学校
- ③ 167cm/56kg
- ④ ボート初心者ですが、周りに負けないように必死に頑張っていきたいと思います！

ふくじょう たける
福條 武琉

- ① 商学部商学科
- ② 兵庫県立洲本高等学校
- ③ 180cm/74kg
- ④ 次こそは、インカレA決勝、そして優勝します。

はたけやま れいか
畠山 麗香
【マネージャー】

- ① 商学部商学科
- ② 北海道
札幌東商業高等学校
- ④ 部の力になるよう成長する

みやもと あや
宮本 彩矢
【トレーナー】

- ① 法学部政治学科
- ② 同志社女子高等学校
- ④ 部の目標達成のために精一杯サポートします

たに ありさ
谷 有紗
【トレーナー】

- ① 法学部政治学科
- ② 同志社国際高校
- ④ 皆さんの力になれるよう一生懸命サポートします





コーチングスタッフ紹介



コーチ

岩井 雄史

同志社大学漕艇部は2020年のインカレにてフルエントリー(男子7種目、女子5種目)を果たした。同様にフルエントリーした大学は仙台大学のみである。同じ私立大学であり、セレクションで選手を獲得している点も共通しているが、戦績は大きく異なった。活動自粛になる前日の2020年3月31日のエルゴ2000mTTの結果は、インカレでの活躍を期待させる内容だった。しかし、この勢いは自粛期間で失われてしまった。大学からの練習制限も復活を制限させた。この4ヶ月の取り組み方の差が仙台大学との差になったのではないだろうか。この悔しさは来年のインカレで晴らす。6分30を切るメンバーで、エイトで出艇させる。そう目標を立てて2021年のインカレに向けたオフシーズンが始まった。



コーチ

堀田 裕希

3月のエルゴ2000mタイムトライアルでは、多くの選手が自己ベストを更新し、今後の成長が期待されましたが、その後、4月に全体での活動が自粛となり、満足にトレーニングを積むことができませんでした。

7月に人数や時間の制限付きで合宿生活が可能となりましたが、同志社のような大所帯にとっては人数制限の影響は大きく、思ったように体力が回復しませんでした。

しかしながら、そんな中でも何とか練習時間を捻出しようと、選手とスタッフが創意工夫しながらスケジュールを考える姿が非常に誇らしく、組織としての強さを改めて感じる事ができました。

このコロナ禍で生まれた組織としての強さを活かし、まずは冬季で低下した体力を徹底的に鍛え直します。春にはひとまわり大きくなった同志社クルーをお見せできると思いますのでご期待ください。そして、変わらぬご支援をよろしくお願いたします。



女子コーチ

中來田 悠介

女子部コーチを担当しております、H29年卒中來田です。

今年のインカレの成績としましては、3艇がB決勝、1艇がA決勝に進出することができ、昨年以上の成績を残すことができました。しかし、目標であったメダル獲得とはならず、さらなる成長が必要であると実感しています。

2021年は昨年と変わらずインカレでのメダル獲得を目標としています。現状、目標達成のためには体力面(エルゴ値)の向上が特に重要なので、そこに力を入れていこうと思っています。

女子部の状況として、新型コロナウイルスの影響で新人勧誘ができず人数が大幅に減っていますが、その分少数精鋭のチームになるよう努力して参ります。



コーチ(新人指導)

杉藤 洋志

引き続き新人コーチを務めます杉藤です。2020年シーズンは新人教育の機会がほとんどなく、アドバイザーとしての立場で複数の上位のクルーとも関わったシーズンでした。厳しい条件の中でクルーはよく頑張ったと思う反面、私のような立場であるからこそ見える課題もよく見えたシーズンでした。今後、より有効なアドバイスを現場の選手たちや若手のコーチたちに提示できるよう、さらに努力してまいります。同志社ボート部の飛躍の一翼を担うことができることを喜びとし、チームに貢献したいと考えております。



リガー

大越 将洋

2020年シーズンもリガーを務めました大越です。今年で3年目、ご存知の通りコロナ禍によって大半のレースは中止、最重要レースであるインカレも9月初めが10月中旬の開催と、これまでにないシーズンとなりました。そんな中でも不変だったのは、選手はオールを漕いで艇を少しでも速く進める競技であること。またそれを支える適正なりギング値、そしてそれを維持しておくことが不可欠なことも。厳しい制約下にありましたが選手たちはベストを尽くし、結果多くのクルーが最終日にレースすることができ、機材における不確定要素をなくすという責務は果たせたかと思っています。来年こそエイトでの良い報告ができるよう、引き続きサポートをして参ります。



同志社大学体育会
ボート部 部長

志賀 理

いつも艇友会の皆さまには、ボート部の活動のみならず、現役生の就職活動支援など、いろいろな側面から温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、今年度は、合宿所で食事を提供できなかったため、艇友会のみなさまから、多くの食料等を差入れていただき、本当にありがとうございました。

2020年度は、コロナ禍での活動となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、4月から3か月間、12月から1か月間の2度にわたる活動停止、朝日レガッタ、関西選手権、オックスフォード盾レガッタの中止という、現役生にとっては、思う存分にボートを漕ぐことができずに1年が終わってしまいました。とりわけ、大学生活最後の年となる4年生にとっては、「なぜ今年なの?」と本当に残念に思ったことでしょう。

しかしながら、そのような制約があるなかで、現役生は、そのような環境に対応し、そこでもできることを「自ら考え、自ら行動」したのではないのでしょうか。3密の状態になる合宿生活で、誰が感染しても誰の責任でもないとしても、クラスターがボート部内で発生しなかったことは、褒めてあげたいことです。これも、感染者が出ればボートが漕げなくなるという現役生のボートに取り組む真摯な姿勢、意欲の表れではないのでしょうか。そのような志の高い現役生を誇りに思います。このように現役生を導いてくださった艇友会会長、幹事会をはじめ艇友会のみなさま、現場でご指導にあたっていただいた監督、コーチに心より感謝申し上げます。

2021年度はどのようになるのかわかりません。新入生の勧誘活動も制約があり、また一からのスタートとなるかもしれません。しかし、このような状況だからこそ、自らの目標・目的を達成するために「自ら考え、自ら行動する」という姿勢が必要になってくると思います。きっと現役生はこの困難な壁を乗り越え、成長してくれるものと期待しております。

艇友会の皆さまには、どうか今後ともなお一層のお力添えを賜りますことをお願い申し上げます。



監督

武田 知也

2020年シーズン当初は、大学の強化クラブ指定の追い風を受け、男子エイト、女子クオドルプルでの最高の結果をと意気込みましたが、コロナ禍以降は大きな方針転換を余儀なくされました。「感染を防ぐこと」「すべての選手に出場機会を」「できるだけ多く選手が勝ち残る」ことに主眼を置き、この難しい時代に大学でロウイングができる喜びを感じられる運営を心掛けました。

新しい期に入りましたが、今なお新人の勧誘、合宿生活の運営、練習時間の確保、試合出場などで多くの活動で制限が続いています。耐え忍び、知恵を絞り、できる範囲での最高の結果を追いつつ、この時代だからこそ有為な人材を輩出できるよう指導に専念してまいります。



コーチ

原 一雅

同志社艇友会員の皆さま、保護者の皆さまには日頃よりボート部に対しましてご支援ご協力をいただきありがとうございます。

2020年は、大学生活や合宿にも多くの制限がかかり練習もままなりませんでしたが、インカレでは順位を付けたクルーも多く、オフシーズンのトレーニングの有効性と地道な自主トレの成果があらわれた特別な年となりました。

2021年シーズンに向けて、選手はもう一度基礎から身体を作り直し、基本に忠実にローイング技術を身につけること。

また、サポート陣も含めた現役部員全員が普段の生活から当たり前のことを当たり前でできる一人の人として、シーズン目標を達成できるよう期待を込めて支援していきます。



コーチ

小原 隆史

コロナ禍で、選手たちの我慢が絶えなかった2020シーズンも終わり。コーチの関わりややり方を自問自答しながら、指導者向け推奨映画であった『ビリギャル』をようやく鑑賞…

この作品にあまり期待もせず先延ばししていたことを猛省、もっと早く観るべきでした…

「ダメな人間(選手)などいません、ダメな指導者がいるだけなのです！」

他にも多くのセリフが心に刺さり、指導者としての在り方に魅せられ、何度も画面がぼやけてしまいました(笑)

「意志あるところに道は開ける！」

どんな状況にあっても、同志社の威信をかけて、部員一人ひとりがボート部生活を豊かに過ごすために、これからもみんなで成長のギアを上げていきましょう！

令和2年度 ボート部にご支援いただいた皆さま

いつもご支援ありがとうございます。来年度もよろしくお願ひ申し上げます。

昭和28年卒 寺元 弘	昭和56年卒 池谷 晋 荒山 元秀	平成2年卒 朝倉 伸二 石橋 雅信	平成10年卒 有馬 誠生 石橋 欣也	平成23年卒 福重 太郎 今井 文美	平成30年卒 松本 直弥 能勢 政典
昭和33年卒 八神 弘雄	細見 博 中住 慎一	坂本 竜一 島田 恭典	岩田 勇人 澁谷 一郎	西本 孝志 西岡 成美	阿部 正典 糸魚川 宗志
昭和38年卒 中村 泰博 三津 誠	野瀬 正治 内海 久俊	配川 隆司 北村 正樹	高橋 功 岡前 秀彦	田中 克弥 園田 真大	大森 健太 奥谷 翔
昭和39年卒 中原 克巳 加野 豊司	中辻 努 昭57年卒 目片 雅喜	朝倉 優子 平成3年卒 乾 健治	内藤 竜一 古川 顕生	今関 将太 菊池 修一朗	宮田 将平 星野 夏貴
昭和40年卒 石本 君夫 廣田 恒夫	林 圭介 林田 尚之	重松 健一 榎原 雅也	平成11年卒 中島 千尋	森福 将之 木下 啓史	佐武 宏哉 横田 颯一郎
昭和41年卒 大宮 久	久保 智之 山本 健也	津嶋 泰 三上 和彦	平成12年卒 若杉 圭	打它 晃 木下 伸也	松坂 滉 古賀 寛之
昭和44年卒 松平 忠正	松山 厚志 永野 巖	安達 祥子 小原 隆史	高橋 輝 平成13年卒 井口 順太	池田 ひかる 平成24年卒 関本 駿	三井 敏匡 村田 真哉
昭和45年卒 新井 喜範 清水 正俊	昭58年卒 小森 進治 和田 学	津嶋 泰 三上 和彦	高橋 毅 平成14年卒 山田 篤	畑田 聖 中村 康治郎	北野 裕樹 西川 修真
昭和46年卒 稲垣 茂春	阿部 和久 田中 秀昭	功力 英俊 勝本 肇	平成15年卒 赤尾 宣彦	濱島 昌輝 千原 奈美	桑原 康彰 黒田 宗一郎
昭和47年卒 横山 基嗣 下津 進	明石 逸二 昭59年卒 米村 康弘	吉田 拓生 米山 尚吾	木口 学 平成16年卒 今東 俊雄	南出 貴裕 平成25年卒 鈴木 直道	高瀬 絵留萌 近藤 晴子
昭和49年卒 花森 節夫	谷口 幸一 作間 秀樹	米山 尚吾 平成5年卒 原田 昌彦	堀内 康武 平成19年卒 角谷 明彦	千原 奈美 平成26年卒 池本 雅基	前田 真奈 田口 夕侑乃
昭和50年卒 宮地 信行 鎌田 博	松本 収平 昭60年卒 伊藤 寛	内田 琢也 平成6年卒 押領司 哲也	堀内 康武 平成19年卒 角谷 明彦	千原 奈美 平成26年卒 池本 雅基	田口 夕侑乃
昭和51年卒 武尾 豊	小森 康充 昭61年卒 高下 康治	内田 琢也 平成6年卒 押領司 哲也	堀内 康武 平成19年卒 角谷 明彦	千原 奈美 平成26年卒 池本 雅基	田口 夕侑乃
昭和52年卒 荻野 義明 中野 貴夫	植野 誠之 昭62年卒 樋口 健一郎	内田 琢也 平成6年卒 押領司 哲也	堀内 康武 平成19年卒 角谷 明彦	千原 奈美 平成26年卒 池本 雅基	田口 夕侑乃
昭和53年卒 桶田 英俊	奥谷 勇人 昭63年卒 阿江 克彦	内田 琢也 平成6年卒 押領司 哲也	堀内 康武 平成19年卒 角谷 明彦	千原 奈美 平成26年卒 池本 雅基	田口 夕侑乃
昭和54年卒 木村 俊雄 高橋 正樹	奥谷 勇人 昭63年卒 阿江 克彦	内田 琢也 平成6年卒 押領司 哲也	堀内 康武 平成19年卒 角谷 明彦	千原 奈美 平成26年卒 池本 雅基	田口 夕侑乃
昭和55年卒 水野 正成 玄道 秀則	奥谷 勇人 昭63年卒 阿江 克彦	内田 琢也 平成6年卒 押領司 哲也	堀内 康武 平成19年卒 角谷 明彦	千原 奈美 平成26年卒 池本 雅基	田口 夕侑乃

※敬称略 ※艇友会費を納入いただいた方および寄付金をいただいた方を掲載しています。



コーチングスタッフ紹介



コーチ

山岡 彩加

部員のみなさん一人ひとりの「アスリート/サポーターとしての自覚ある行動」、ここに同志社ボート部の強みがあると感じます。私自身がメディカル/ケア部門コーチとして関わらせていただき3シーズン目となりますが、選手・トレーナーはじめ部員のみなさんには「自分のケガは自己責任である」というアスリートとしての覚悟と、然るべきタイミングで然るべき専門家の声を聞き入れる素直な姿勢があります。その「覚悟と素直さ」を「強さ」に繋げることが自分の仕事と心得、まずは選手のみなさんがケガをしないよう、もしくは、ケガをしてしまったとしてもさらに「強く」なって競技復帰できるように、今シーズンも対応に努めてまいります。



コーチ

山口 弘人

昨年度はさまざまな困難がありました。その中で収穫は、現役部員は心の底からボートが好きなんだということです。山田主将を始めとした学生幹部の頑張りも含め、コロナ禍の退部者0人は誇れることです。今年も変わらず僕の役目は、大所帯になった歯車を噛み合わせて、最大の成果を生み出すことです。個のレベルアップを強化するチームの方針と矛盾するようですが、両立の鍵は目的意識を持ったコミュニケーションです。スキル、マインドを昨年より一段階上げて、真の意味での強豪になるために取り組んで参ります。今年が創部130周年です。過去の先輩方の想いも乗せて、チームスローガン『威信』をコーチとしても体現して参ります。

enjoy rowing !

OBの皆さん
生涯スポーツとして
楽しむボートを漕ぎませんか
ご連絡お待ちしております
林田 尚之 fatbob_nao@yahoo.co.jp

WILD ROVER 漕艇部
ワイルドローバーローイングクラブ

Grand Bisou

喫茶・お食事

サイフォンで淹れる
コーヒーと、味わい深い
白金豚のお料理は
いかがですか？

TEL/FAX (077)532-6935

〒520-2132
大津市神領3丁目21-19 金子野和第1ビル1F

極上生パスタ

Ischerza
スケルツォ
今出川駅①番出口 徒歩3分
075-285-4380

そば 一品料理

あ 吾 づま 嬢

TEL:077-545-0011

大津市瀬田1丁目19-31

あみさだ AMISADA

TEL:077-537-1780
FAX:077-537-1791
http://amisada.jp

〒520-0851 大津市唐橋町23-1 [瀬田唐橋中の島南側]

カフェ・レストラン アドリア

湖岸道路唐橋下ル TEL:077-537-3355

日頃よりボート部に温かいご支援、ご声援を賜りありがとうございます。『力漕』第28号の制作を担当いたしました新4回生マネージャーの春田ひかると申します。この度は『力漕』をご清覧いただき、誠にありがとうございます。

2020年は想像もしなかった1年になりました。新型コロナウイルス流行の影響を受け、長期に渡る活動停止を余儀なくされました。思うように活動ができないことへの、やり場のないもどかしさを何度も味わいました。しかしそのような中だからこそ、大切なことに改めて気づきました。それは「同志社ボート部がたくさんの人の支えによって成り立っている」ということです。食事提供が禁止されている中、補食のご提供をお願いした際には、非常にたくさんの方々からサラダチキンや野菜ジュース、栄養補助食品、お菓子などが届きました。一時は事務室を占領するほどの数が届き、皆さまからの応援のお気持ちを、身をもって実感いたしました。皆さまからの温かいご支援に、この場を借りて御礼申し上げます。

担当者として今回の『力漕』で伝えたいテーマがありました。それは「見えないところを見てもらう」です。昨年の大会は全て無観客での開催となり、部員の活躍する姿をご覧いただくことが叶いませんでした。だからこそ逆に、普段見ることができない部分を見ていただこうと考えました。速征の密着やトレーニングルーム紹介の特集はそんな想いを込めて作成しております。

す。戦績につきましても、全大会、全クルー掲載しております。コロナ禍という逆境に負けず、努力し続けた部員の姿が少しでも伝われば幸いです。

私事ですが、昨年度に引き続き2年連続で部誌制作を担当させていただきました。今回の部誌で最後となりました。部誌制作を通じ、さまざまな人に出会い、さまざまな経験をし、さまざまなことを学びました。文章を書くことが好きな私にとってこの部誌制作は、忘れられない経験となりました。広告掲載を快く承諾いただいた協賛企業の皆さま、制作にご尽力いただいた方々。私の「こういう部誌を作りたい!」という気持ちに尊重して下さった監督。毎年部誌を楽しみにして下さるOB、保護者の皆さま。そして部員の皆、部誌を作ることができているのも、毎日日本気で懸命にボートに打ち込む皆がいるからです。マネージャーとして部を支えているつもりが、私自身がここには書ききれないほどたくさんの方に、たくさんの方で支えられていました。それを教えてくれたのは『力漕』です。制作にご協力いただいた方々をはじめ、ボート部に関わりのあるすべての方に心より感謝申し上げます。

来年度も、今年度を超える飛躍を目指し、部員一同精進してまいります。これからも変わらぬご声援、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

新4回生マネージャー 春田ひかる



京のちりめん 問屋

京阪シルクは和装小物・雑貨・手芸素材の企画開発をしています。近年は特にちりめんに注力した素材を提供しています。各種ちりめんと京友禅の融合した伝統美をお楽しみください。

〒600-8108
京都市下京区五条通西洞院東入ル
TEL:075-351-2340
FAX:075-351-4352

www.keihansilk.com/

同志社艇友会の皆さん、そしてボートを愛する全ての皆さんへ

この度、同志社大学ボート部 OB が中心となって、瀬田を拠点にエイト艇を所有し、多くの人々が気軽にいつでもエイト乗艇を楽しめる環境をつくり『漕縁』を広めることを目的として、一般社団法人ワイルドローバーローイングクラブ(WRRC)を設立し発進いたしました。北海道、関東、関西、全国に仲間がいます。一緒に漕ぎましょう。お気軽に連絡ください。

【連絡先】
林田 尚之(昭和57年卒)
携帯:080-6172-1104
メール:fatbob_nao@yahoo.co.jp

石橋欣也(平成10年卒)
携帯:090-8346-1574
メール:wmrpt31414840116@gmail.com

営業力強化研修をご提案します!

研修実績:大阪府庁、東京都庁、キッコーマン、野村證券、大塚商会、日本生命、富士通、NEC、日本経済新聞社、パソナ、大阪ガス、三菱UFJ銀行、ローソン、SMBCコンサルティング、他

小森コンサルティングオフィス
代表:小森 康充(昭和60年同志社大卒)

URL: <http://www.giantkevin.com> メール: yasumitsu.komori@gmail.com

プロフィール:P&G等外資系企業で20年間の営業キャリア、その後神戸学院大学で客員教授に就任、2009年に営業力強化コンサルタントで独立。現在はビジネス社会の勝利と成功をサポートするため企業研修を年間150回実施している。著書に「スベらない商談力」「リーダー3年目からの教科書」等



同志社大学アルバイト紹介システム

短期・単発もあるよ！

学内のアルバイトも掲載！

いいバイトだけを厳選！

大学別のアルバイト情報が閲覧できる
学生アルバイト情報ネットワーク

大学
公認

学生の
ための
サイト

バイトネット



バイトネットは大学が設定した基準をクリアした安心、安全なアルバイト情報のみを審査して掲載しています。

大人気！
試験監督や
塾講師

嬉しい
短期単発の
スタッフ募集

授業や部活
学生への
理解がある！

学内バイト等
他媒体では
見つからない！

新規登録方法

QRコードもしくは下記 URL よりサイトにアクセスし、以下の手順に従って新規登録してください。

<https://www.aines.net/doshisha>



STEP1
開く

トップページから
新規登録画面を
開いてください。

STEP2
アドレス登録

e-mail アドレスを
登録してください。

STEP3
メール確認

ご登録いただいた
e-mail アドレス宛に
ID とパスワードが
届きます。

STEP4
ログイン

ログイン画面に ID と
パスワードを入力し
ログインしてください。

STEP5
検索！

希望のアルバイトが
見つかったら、直接
求人先に連絡して
ください。



EUROPE



EUROPE

世界日通。

あなたのグローバルビジネスをフルサポート。

「ポーダレスで世界を結ぶ独自の一貫輸送サービス網——日本通運のロジスティクス」

日本通運は、上海からシンガポールに至るSS7000、カナダ・北米を縦断してメキシコを結ぶXB3300、オランダからモスクワに至るEB3000等

国境を越えた独自の輸送ルートを構築。世界48ヵ国、321都市、744拠点、20,000人を越える海外スタッフによる

ネットワークを基盤に、グローバルビジネスをフルサポートしています。2020年3月現在

グローバル市場で物流を進化させていく。世界日通。日本通運です。



AMERICA



AMERICA



ASIA



ASIA

日本通運
NIPPON EXPRESS

世界日通 検索

キミも、アミノバイタル?



スポーツ。水。アミノ酸。

amino VITAL
アミノバイタル®

トップアスリートも使用。



アミノバイタル® GOLD

筋トレで賢く筋肉をつけるなら。



アミノバイタル®
アミノプロテイン



スポーツマンに。



アミノバイタル® プロ

運動によるダイエットに。



アミノバイタル® カプセル



運動をはじめた人に。



アミノバイタル®
アクティブファイン

キッズにはゼリーも。



アミノバイタル® ガッツギア



No.1 アミノ酸サプリメント

※インテージ SRI 17-19年度 スポーツアミノ酸サプリメント 粉状、ゼリー

Eat Well, Live Well



AJINOMOTO